

資料編

○生活ニーズに関するアンケート
結果集計グラフ

○用語解説

生活ニーズに関するアンケート結果集計グラフ

○ 調査事項基本体系



○アンケート実施 平成 18 年 6 月

○アンケート集計 平成 18 年 7 月～9 月

○ 琴浦町調査対象者数

・在宅 158 人 ・施設 42 人 ・入院 26 人 ・通院 33 人

—アンケート 票 目次—

【Ⅰ 基礎的事項】

問1	あなたのご自宅（出身地）の市町村はどちらですか？	3
問2	あなたの年齢はいくつですか？	3
問3	あなたの性別はどちらですか？	3
問4	あなたの利用している施設はどれですか？	3
問5	あなたは今の施設で暮らし始めてどのくらいになりますか？	4
問6	あなたはどのような障害がありますか？	4
問7	あなたは、食事、入浴、トイレなどの身の回りのことをひとりですみますか？	5

【Ⅱ 生活の場、活動の場】

問8	あなたは、昼間どのように過ごしていますか？	7
問9	あなたは今の暮らしに満足していますか？	7
問10	あなたはどのような暮らしを望んでいますか？	7
問11	あなたが今後暮らしていく中で、どのようなサービスを利用したいと思いますか？	8

【Ⅲ 働く場、収入】

問12	あなたには定期的な収入がありますか？	12
問13	あなたは今、働いていますか？	12
問14	1ヶ月間の仕事による収入はどれくらいですか？	12
問15	仕事をするうえで困ったり、つらいことは主にどのようなことですか？	12
問16	あなたは今後（将来）、働くことを希望しますか？	13
問17	どんなところで働きたいですか？	13
問18	あなたが働くうえで、どのような条件が必要ですか？	14
問19	現在、あなたのお金や財産は、誰が管理していますか？	14

【Ⅳ 不安・相談】

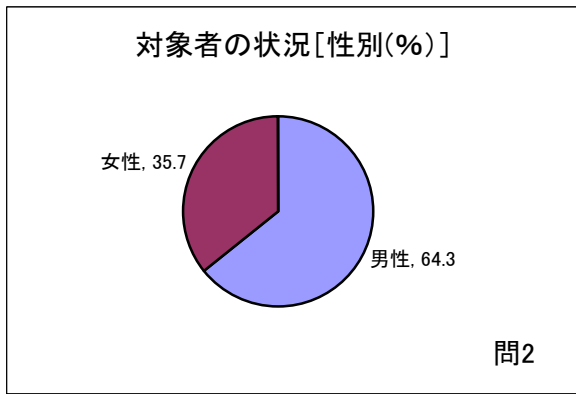
問20	あなたは今の生活の中で、困っていることや将来に対する不安、悩みなどはありますか？	15
問21	あなたが困ったときに、気軽に相談できる人はだれですか？	15

【Ⅴ 希望・要望】

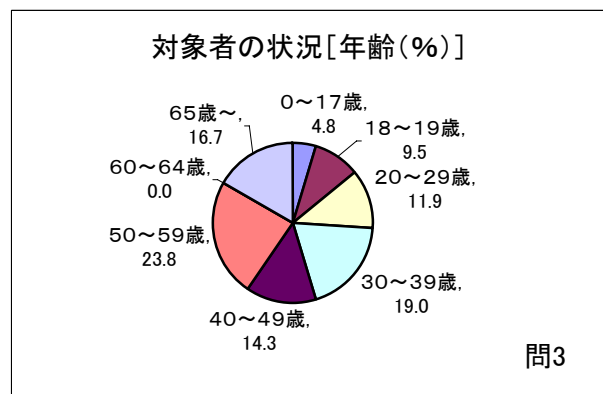
問22	あなたが暮らしやすくなるために、充実してほしいことは何ですか？	16
問23	必要な福祉サービスなど、障害者福祉についてあなたがお考えになっていることがありましたら、ご自由にお書きください。	16

施設(42人中)

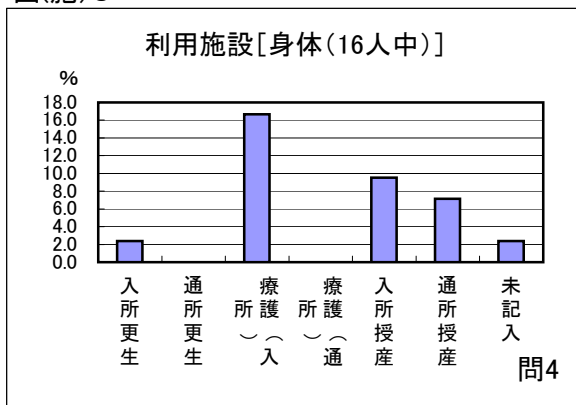
図(施)1



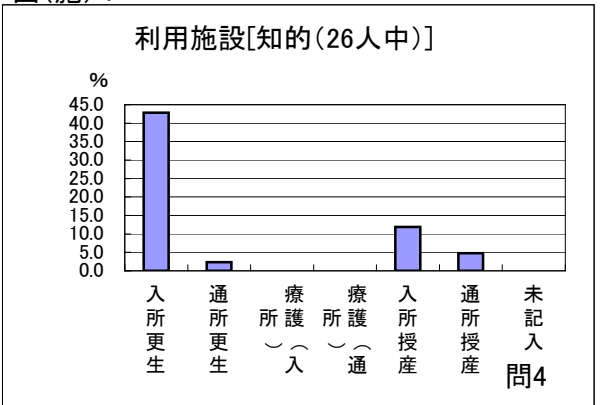
図(施)2



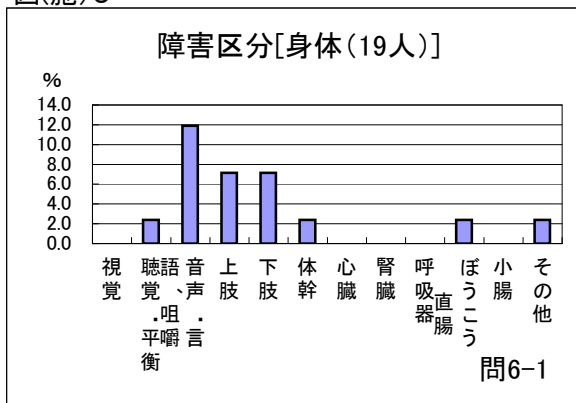
図(施)3



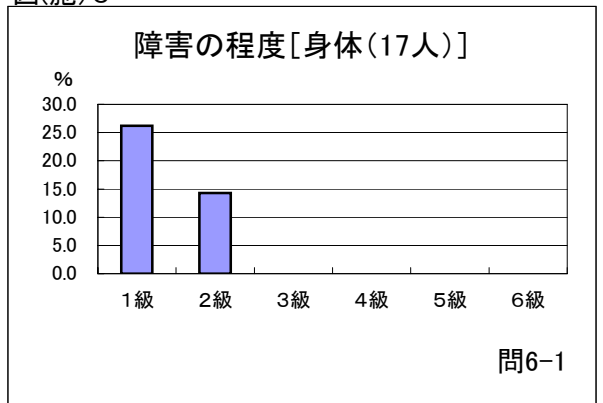
図(施)4



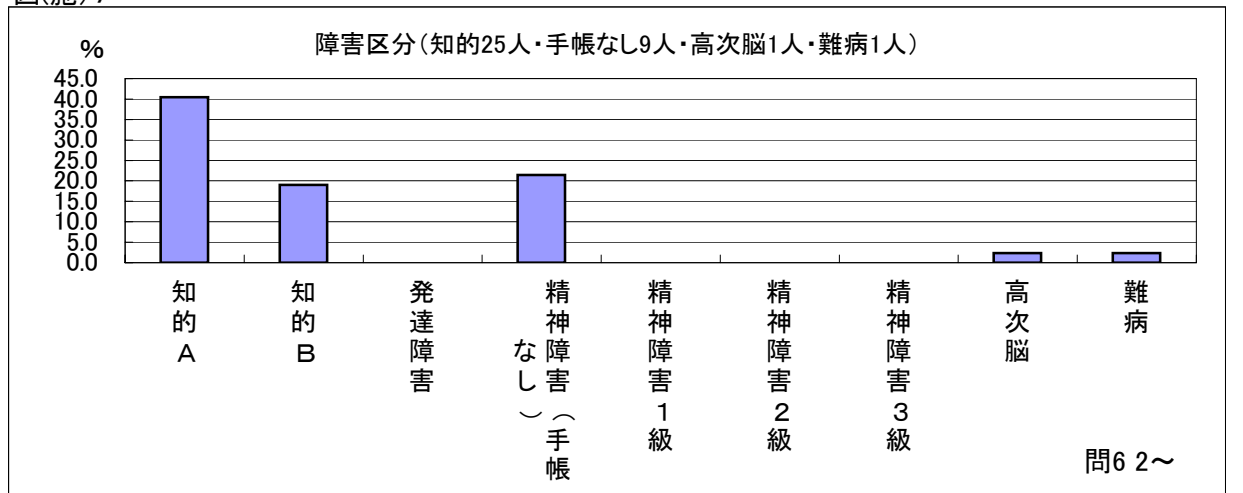
図(施)5



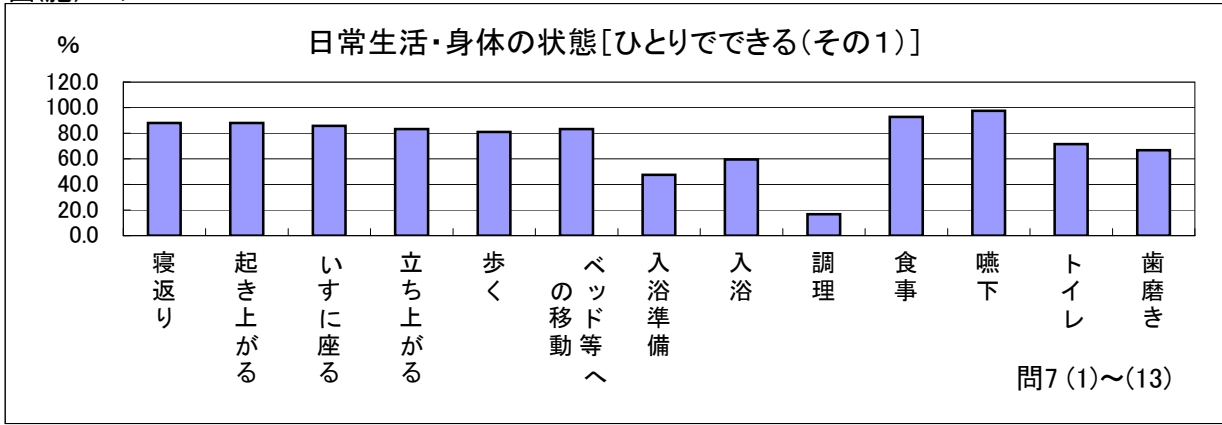
図(施)6



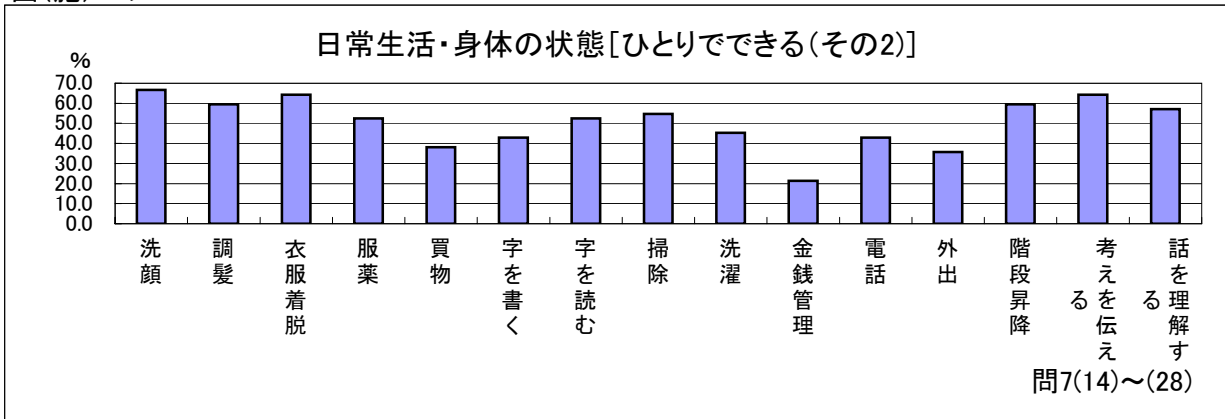
図(施)7



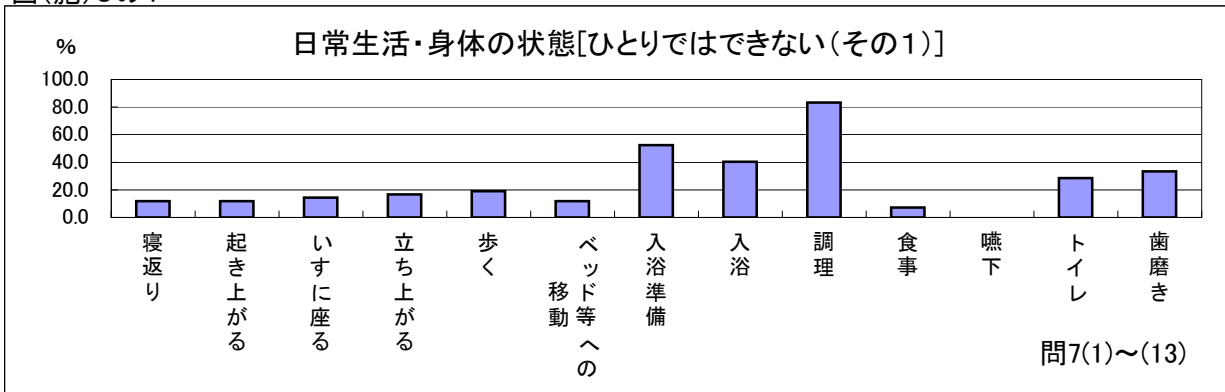
図(施)8の1



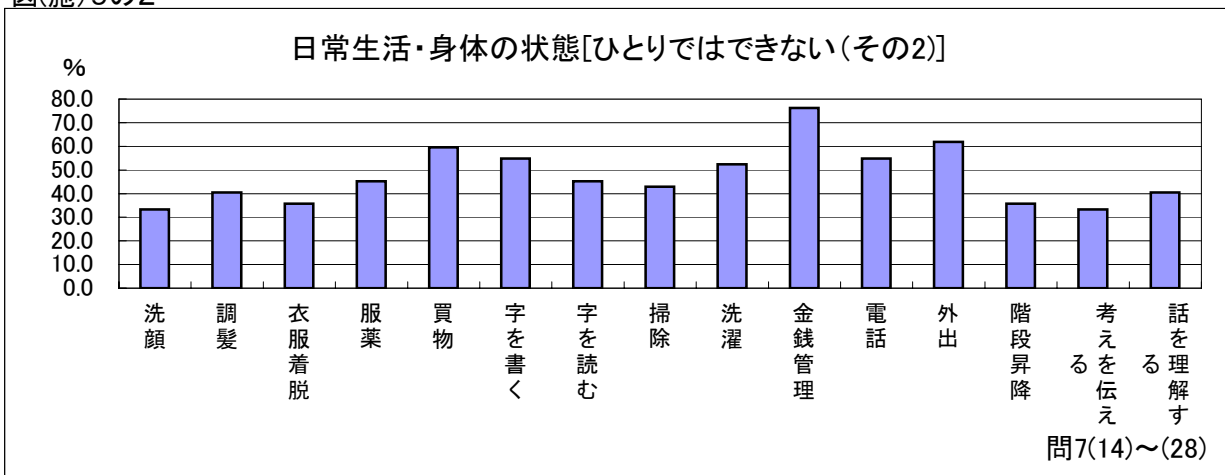
図(施)8の2



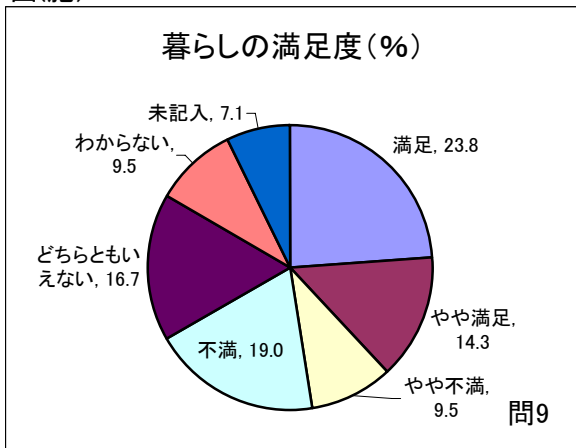
図(施)9の1



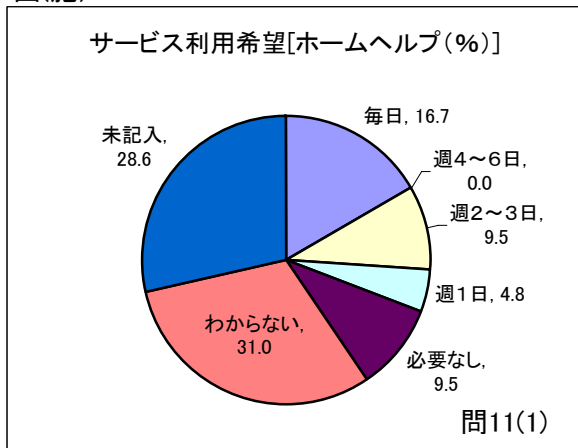
図(施)9の2



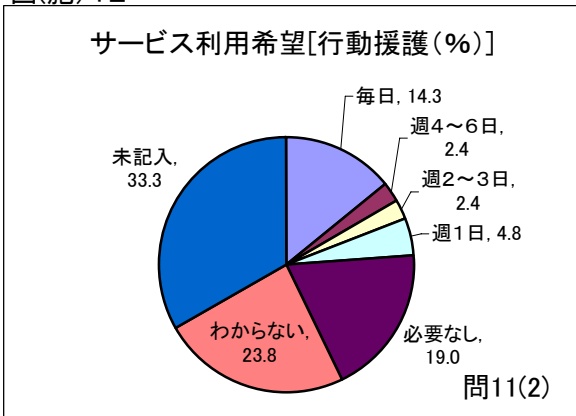
図(施)10



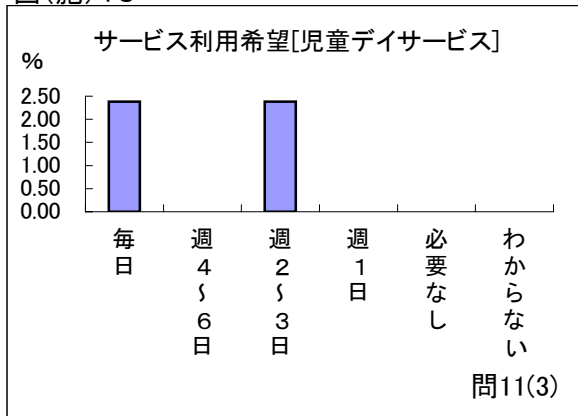
図(施)11



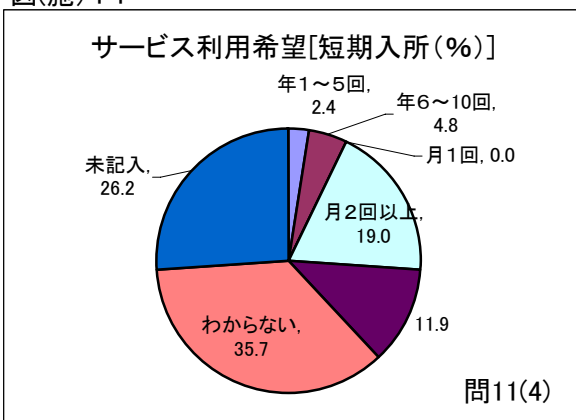
図(施)12



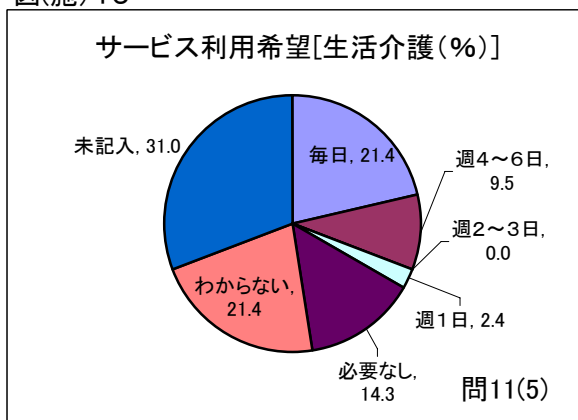
図(施)13



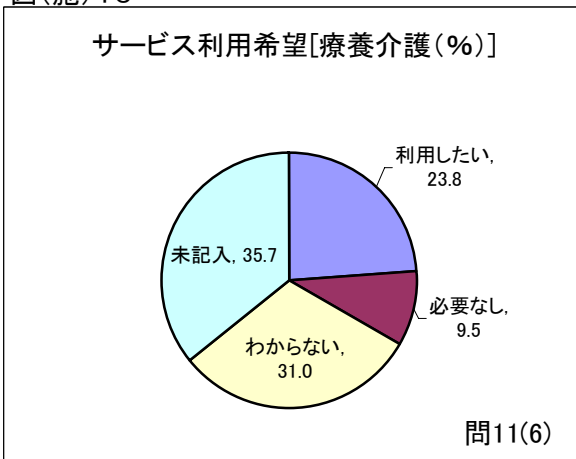
図(施)14



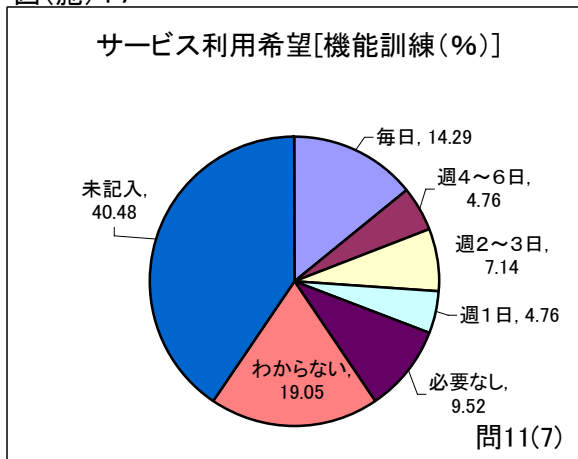
図(施)15



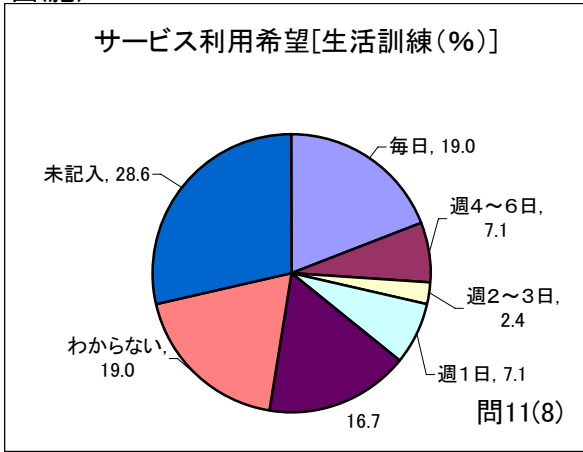
図(施)16



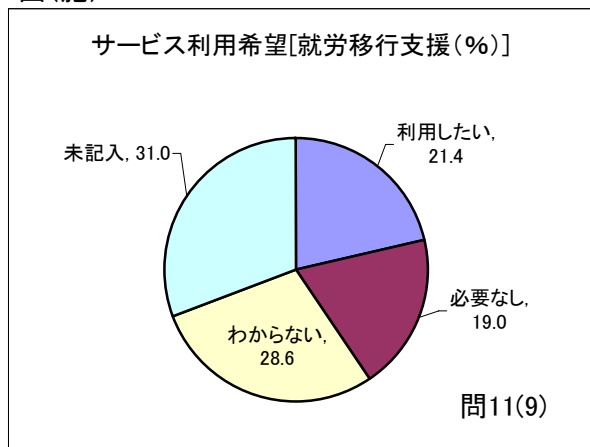
図(施)17



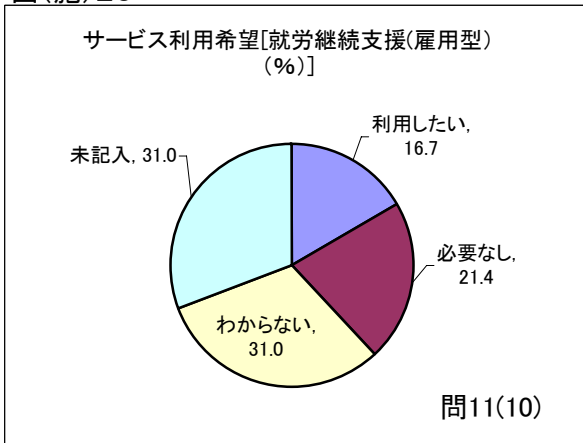
図(施)18



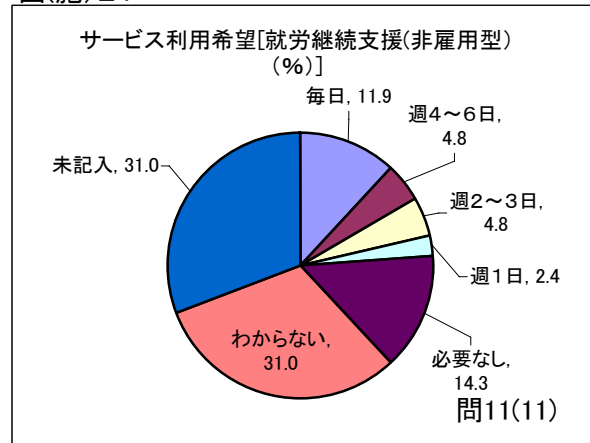
図(施)19



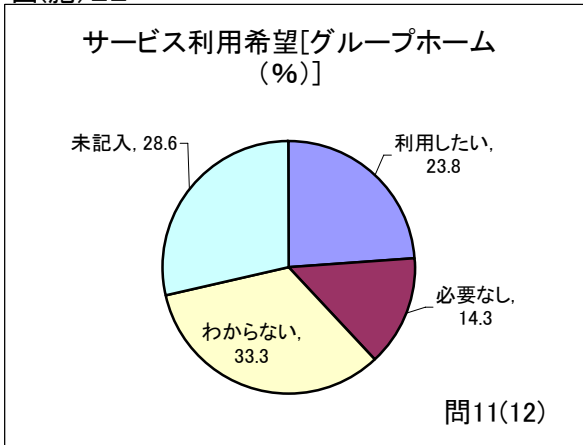
図(施)20



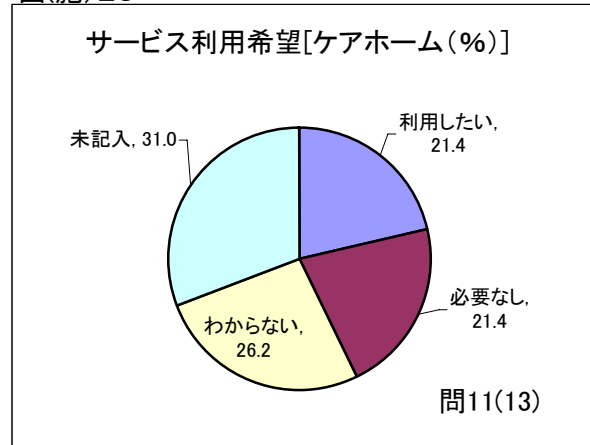
図(施)21



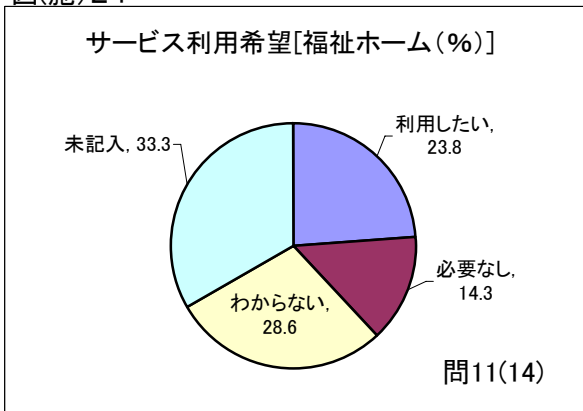
図(施)22



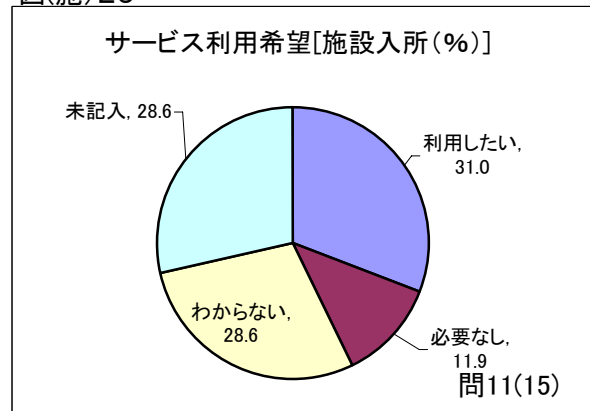
図(施)23



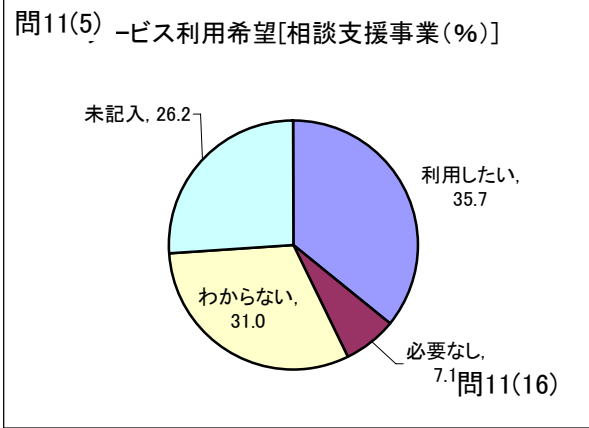
図(施)24



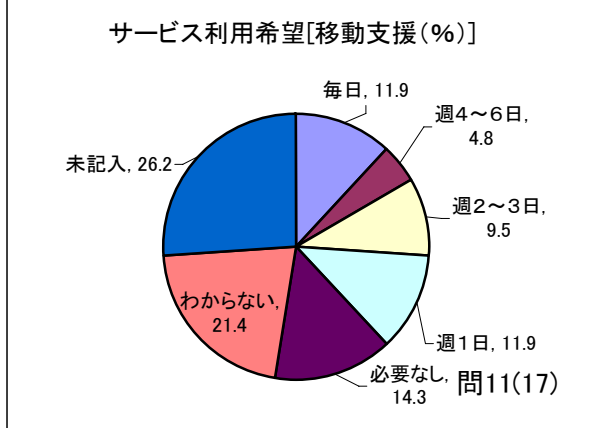
図(施)25



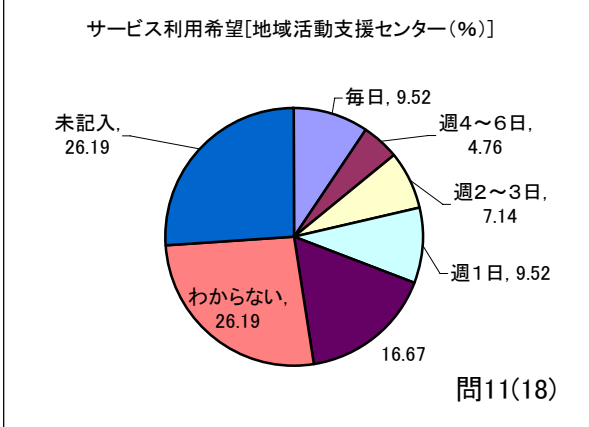
図(施)26



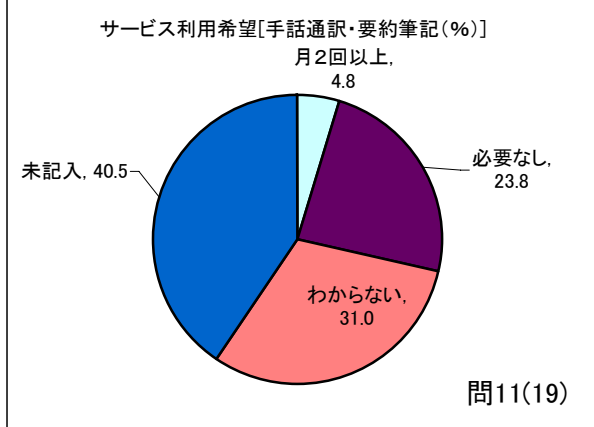
図(施)27



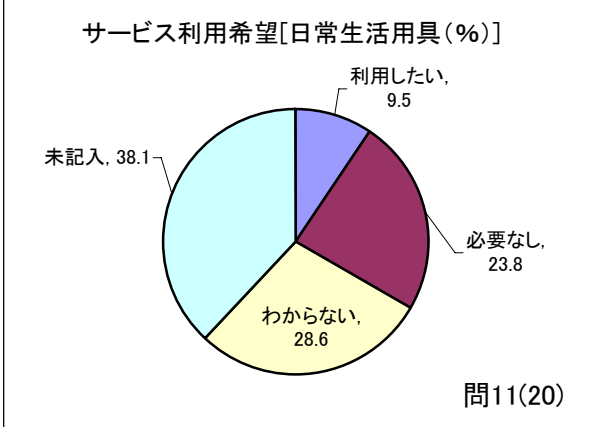
図(施)28



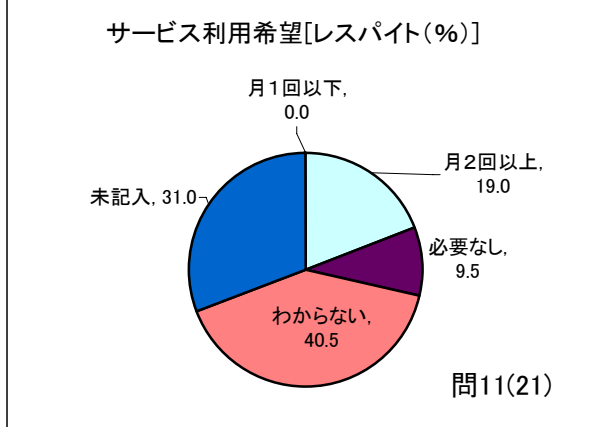
図(施)29



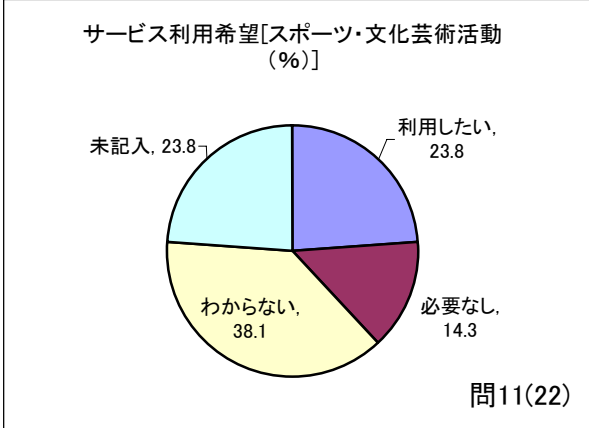
図(施)30



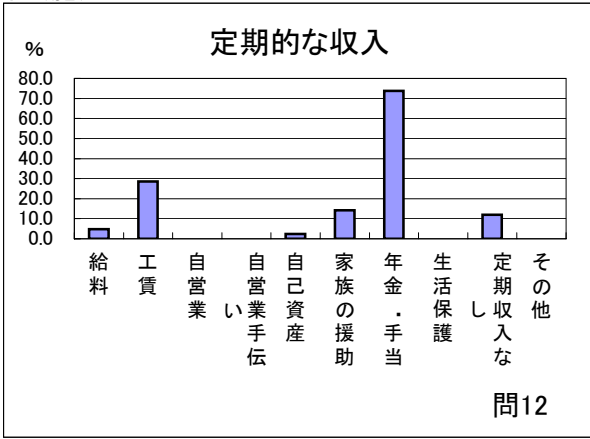
図(施)31



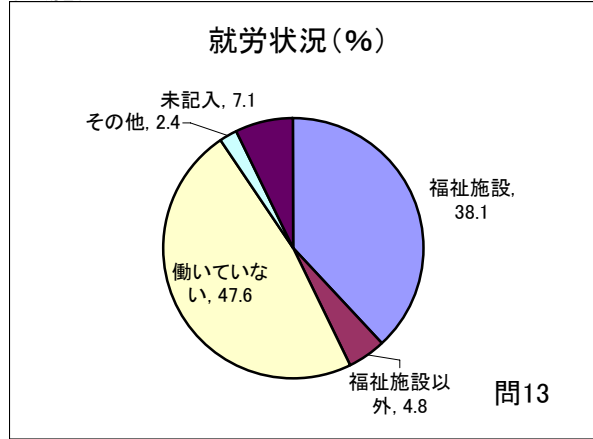
図(施)32



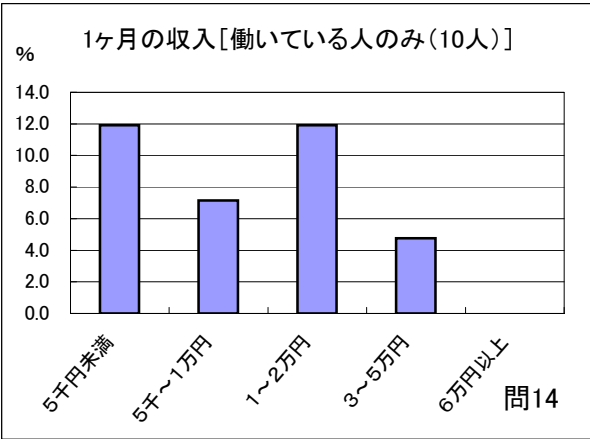
図(施)33



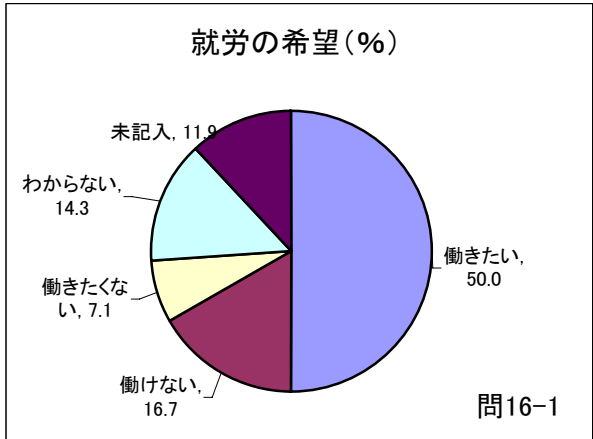
図(施)34



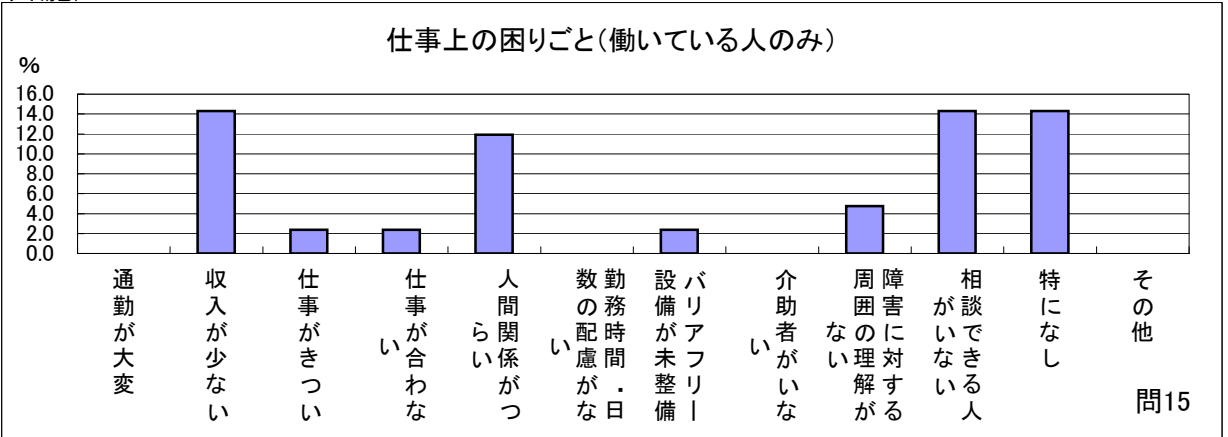
図(施)35



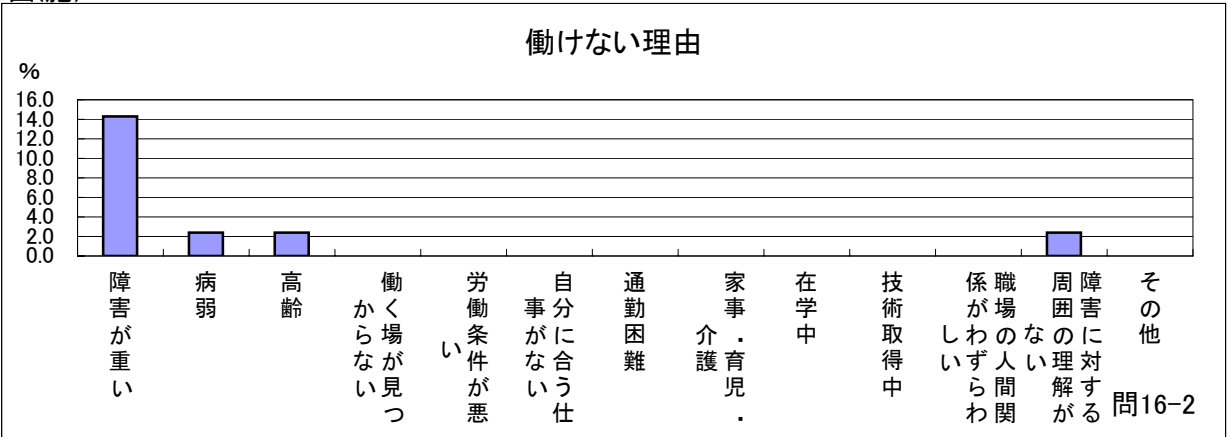
図(施)36



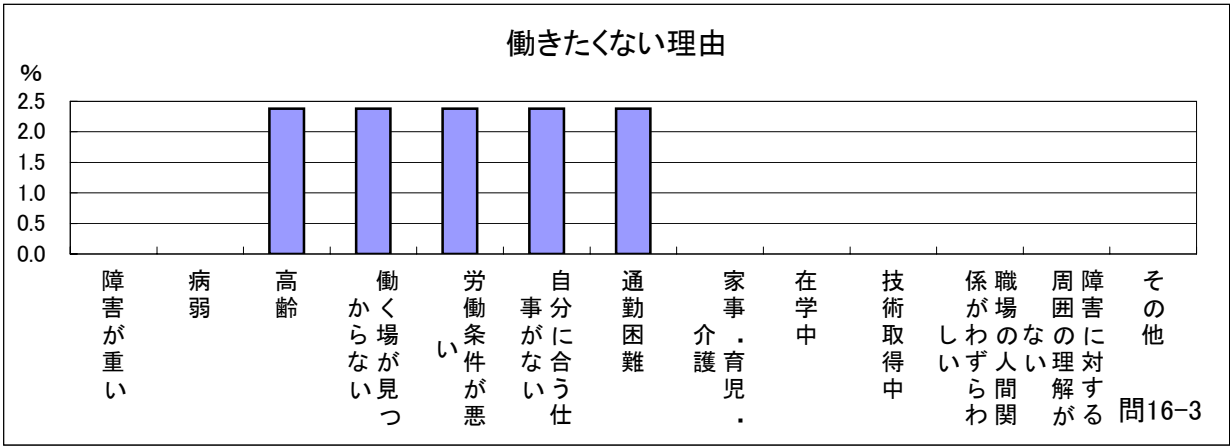
図(施)37



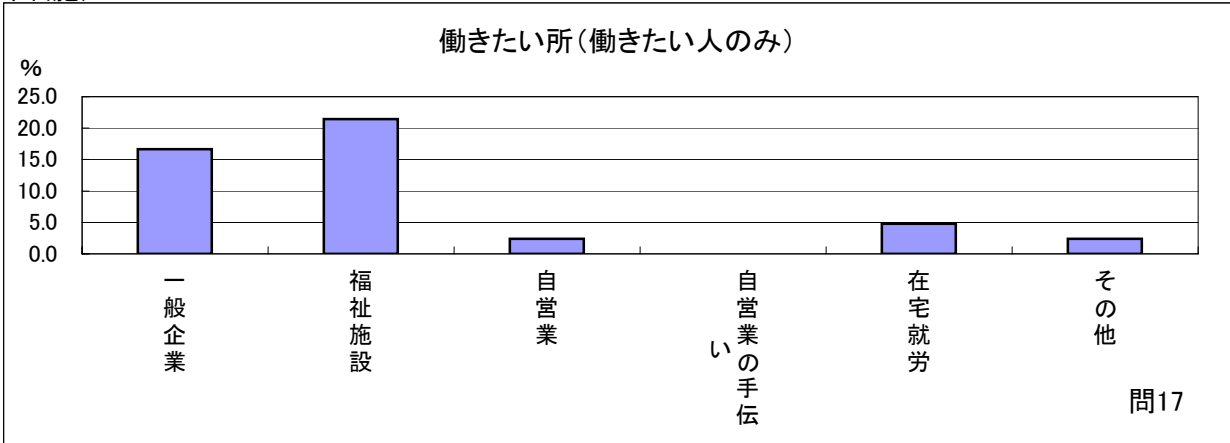
図(施)38



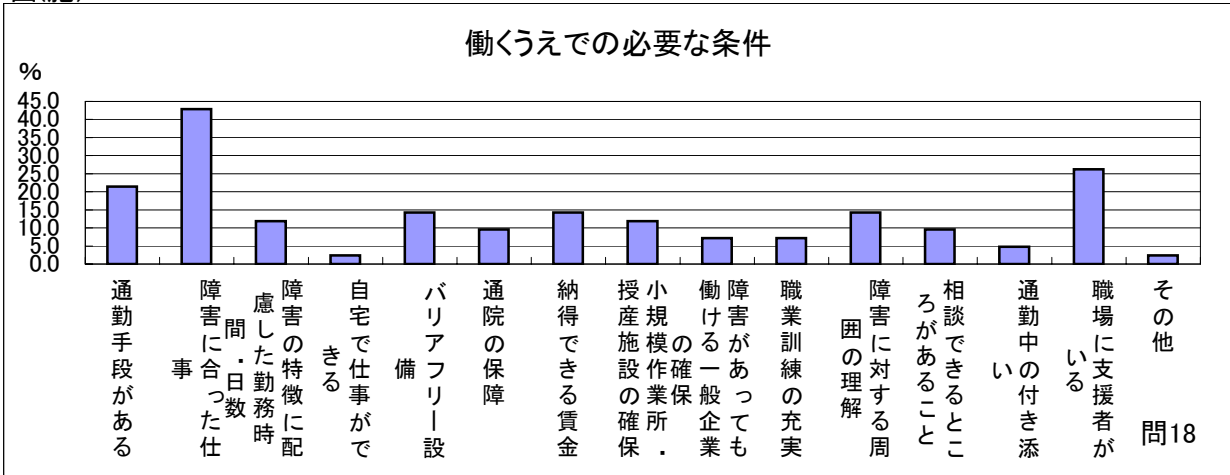
図(施)39



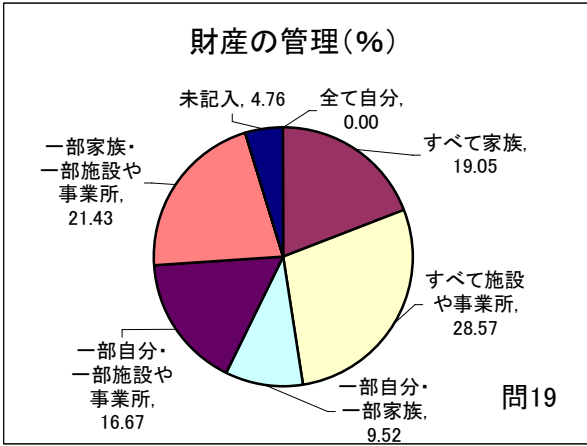
図(施)40



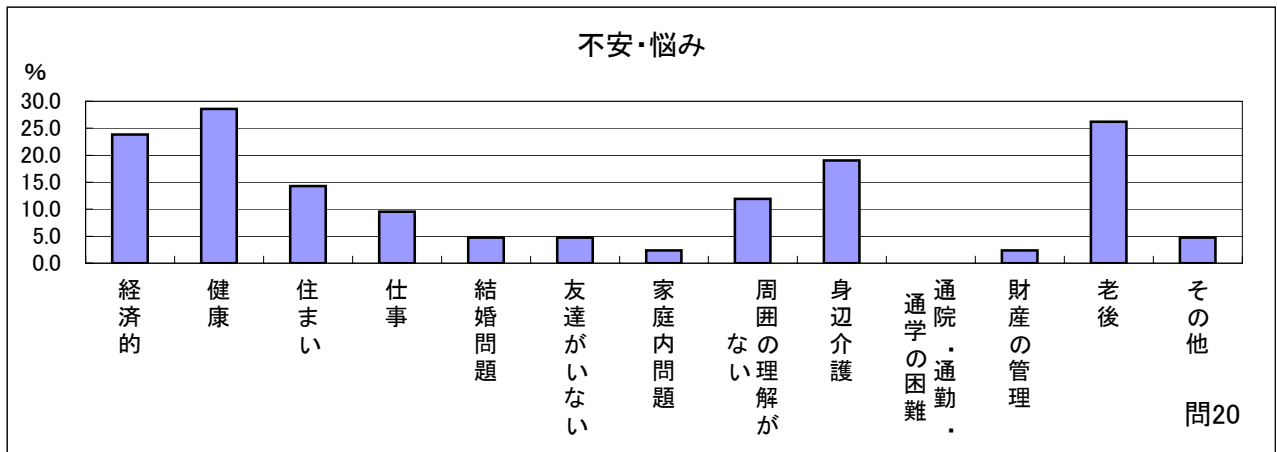
図(施)41



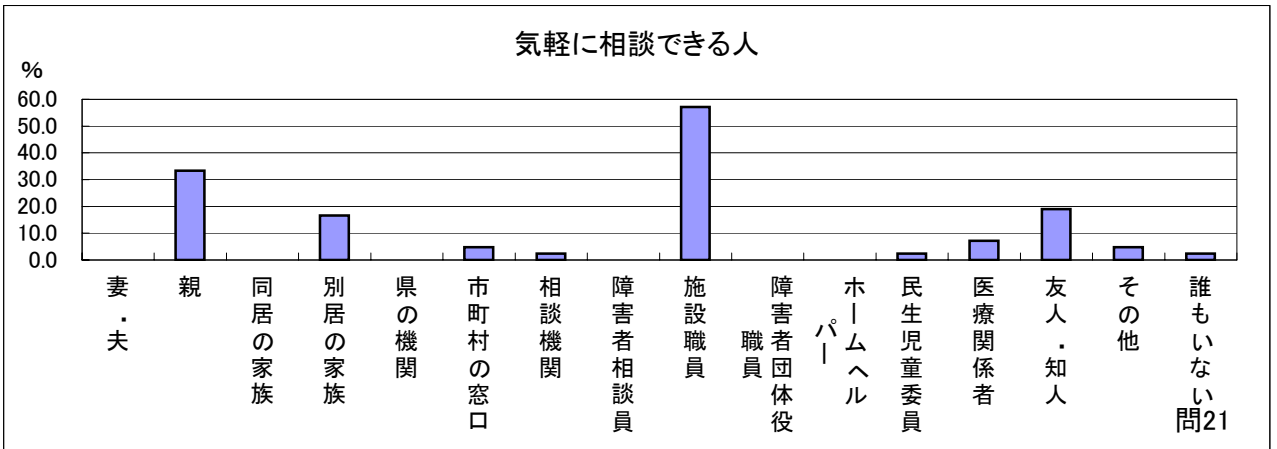
図(施)42



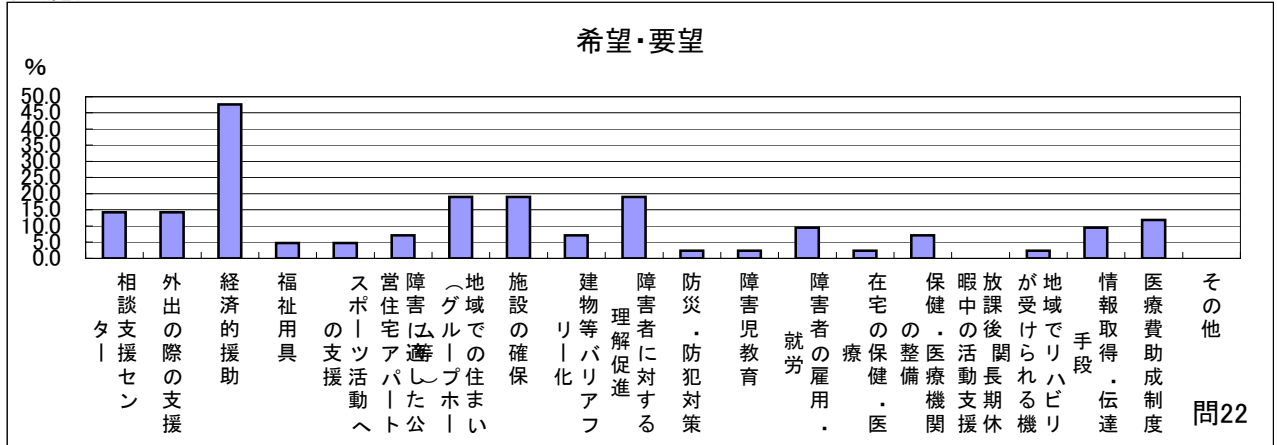
図(施)43



図(施)44



図(施)45

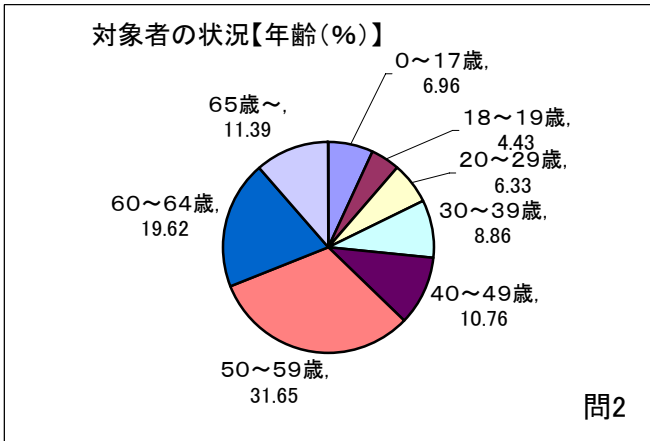


—アンケート票目次—

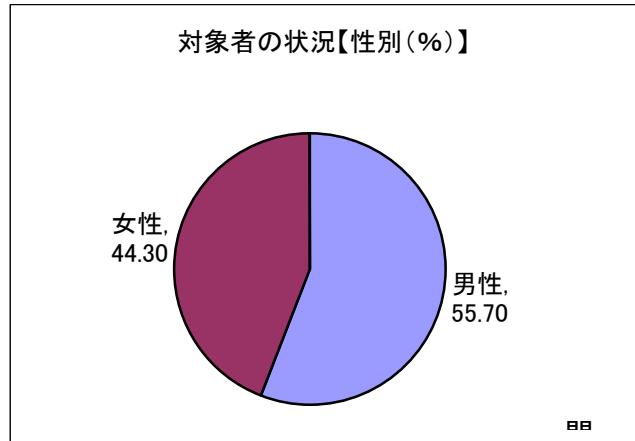
【Ⅰ 基礎的事項】		
問1	あなたのご自宅（出身地）の市町村はどちらですか？	4
問2	あなたの年齢はいくつですか？	4
問3	あなたの性別はどちらですか？	4
問4	あなたはどのような障害がありますか？	5
問5	あなたは今だれと暮らしていますか？	6
問6	あなたは、食事、入浴、トイレなどの身の回りのことをひとりでできますか？	6
【Ⅱ 生活の場、活動の場】		
問7	あなたは今どこで暮らしていますか？	8
問8	あなたは、昼間どのように過ごしていますか？	8
問9	あなたは、現在どのようなサービスを利用していますか？	9
問10	あなたは今の暮らしに満足していますか？	10
問11	あなたはどのような暮らしを望んでいますか？	10
問12	あなたが今後暮らしていく中で、どのようなサービスを利用したいと思いますか？	11
【Ⅲ 働く場、収入】		
問13	あなたには定期的な収入がありますか？	15
問14	あなたは今、働いていますか？	15
問15	働いていないのはどのような理由によりますか？	15
問16	1ヶ月間の仕事による収入はどれくらいですか？	15
問17	仕事をするうえで困ったり、つらいことは主にどのようなことですか？	16
問18	あなたは今後（将来）、働くことを希望しますか？	16
問19	どんなところで働きたいですか？	16
問20	あなたが働くうえで、どのような条件が必要ですか？	17
問21	現在、あなたのお金や財産は、誰が管理していますか？	17
【Ⅳ 不安・相談】		
問22	あなたは今の生活の中で、困っていることや将来に対する不安、悩みなどはありますか？	18
問23	あなたが困ったときに、気軽に相談できる人はだれですか？	18
【Ⅴ 希望・要望】		
問24	あなたが暮らしやすくなるために、充実してほしいことは何ですか？	19
問25	必要な福祉サービスなど、障害者福祉についてあなたがお考えになっていることがありましたら、ご自由にお書きください。	20

在宅(158人中)

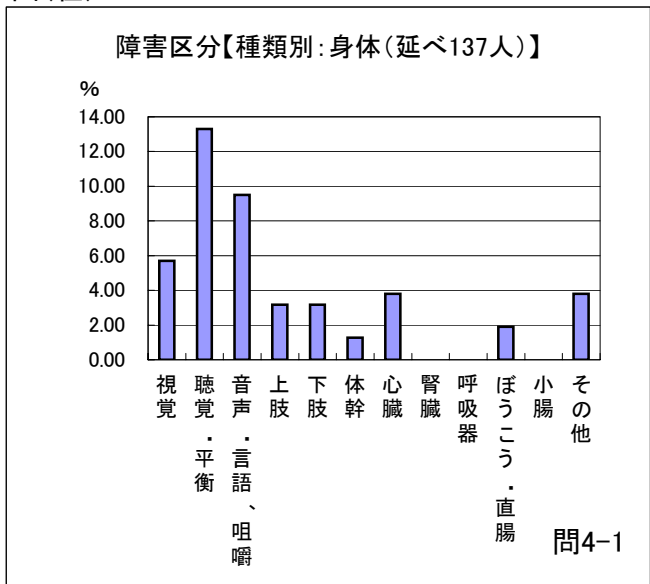
図(在)1



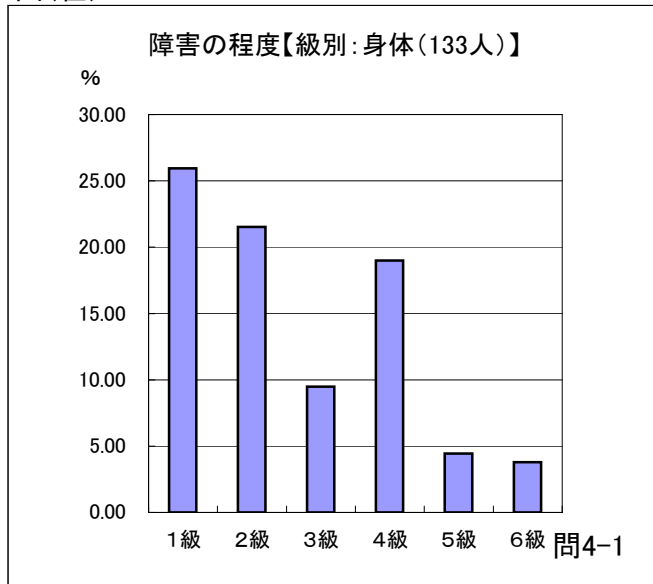
図(在)2



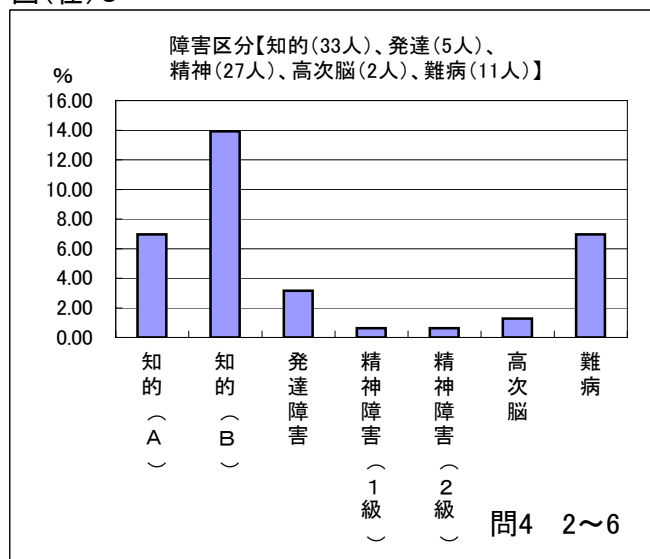
図(在)3



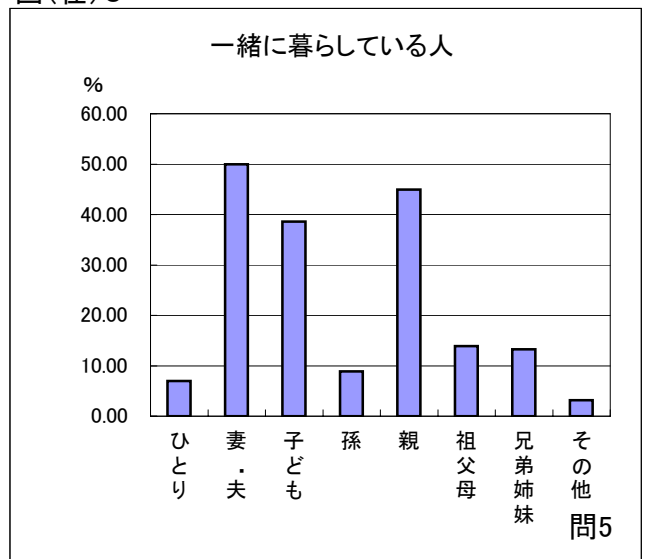
図(在)4



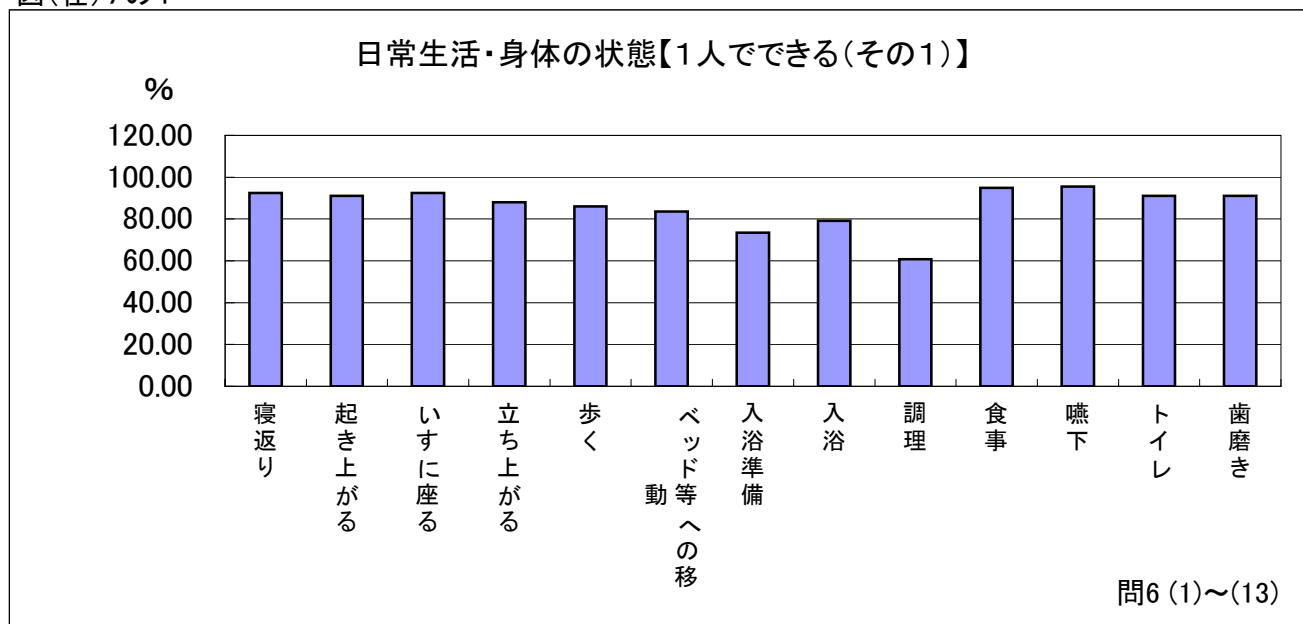
図(在)5



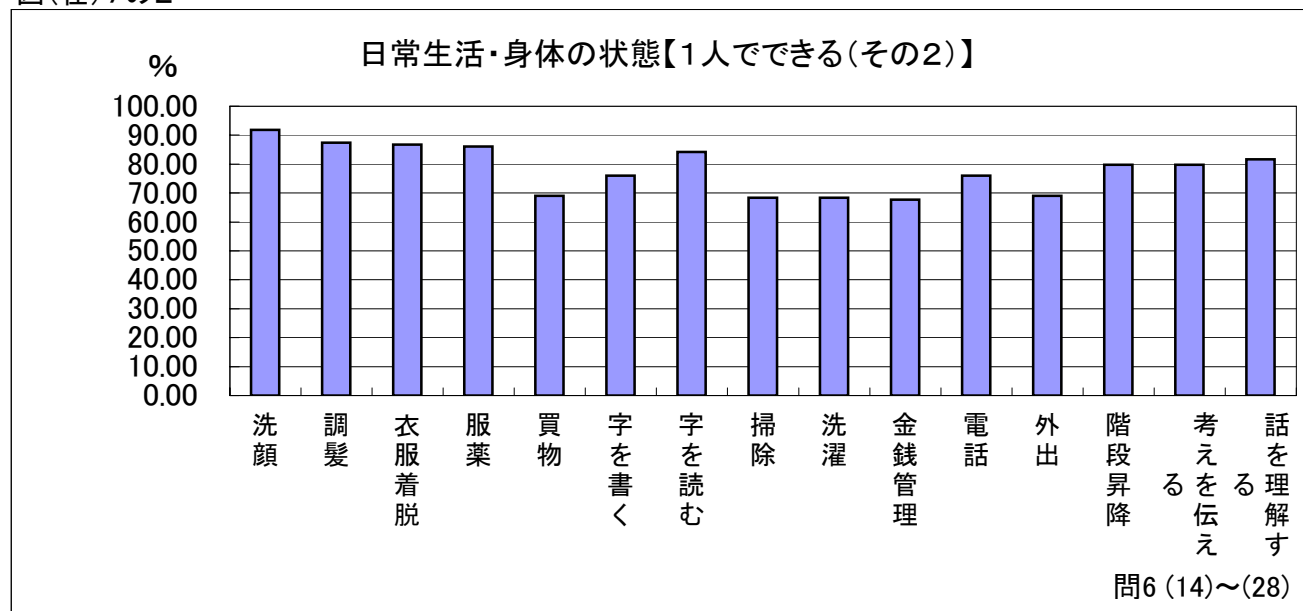
図(在)6



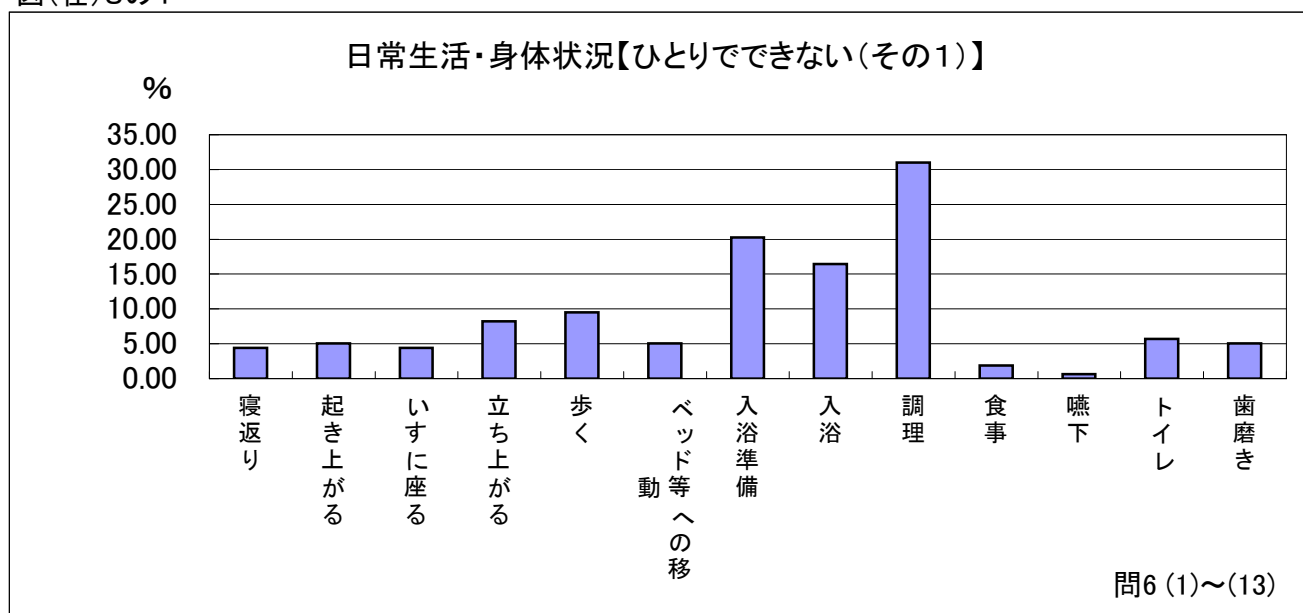
図(在)7の1



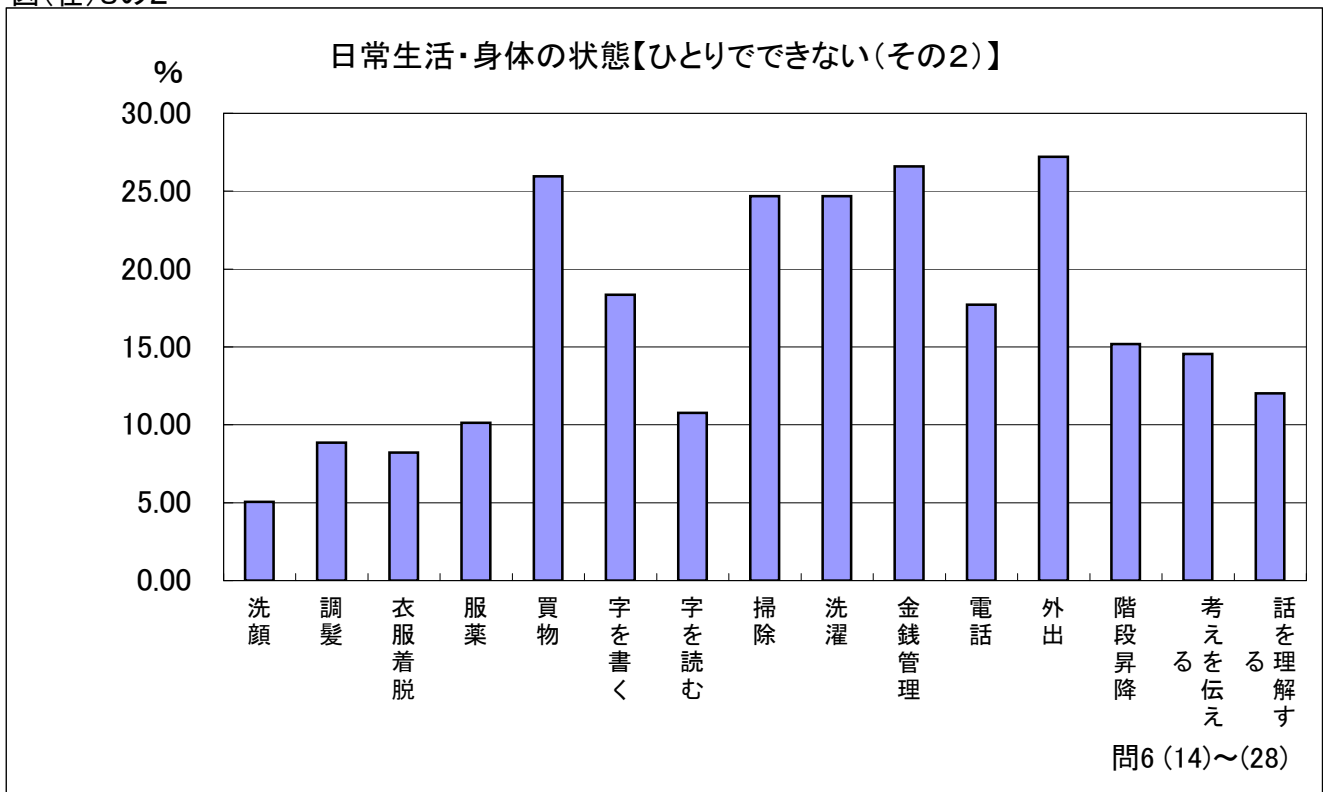
図(在)7の2



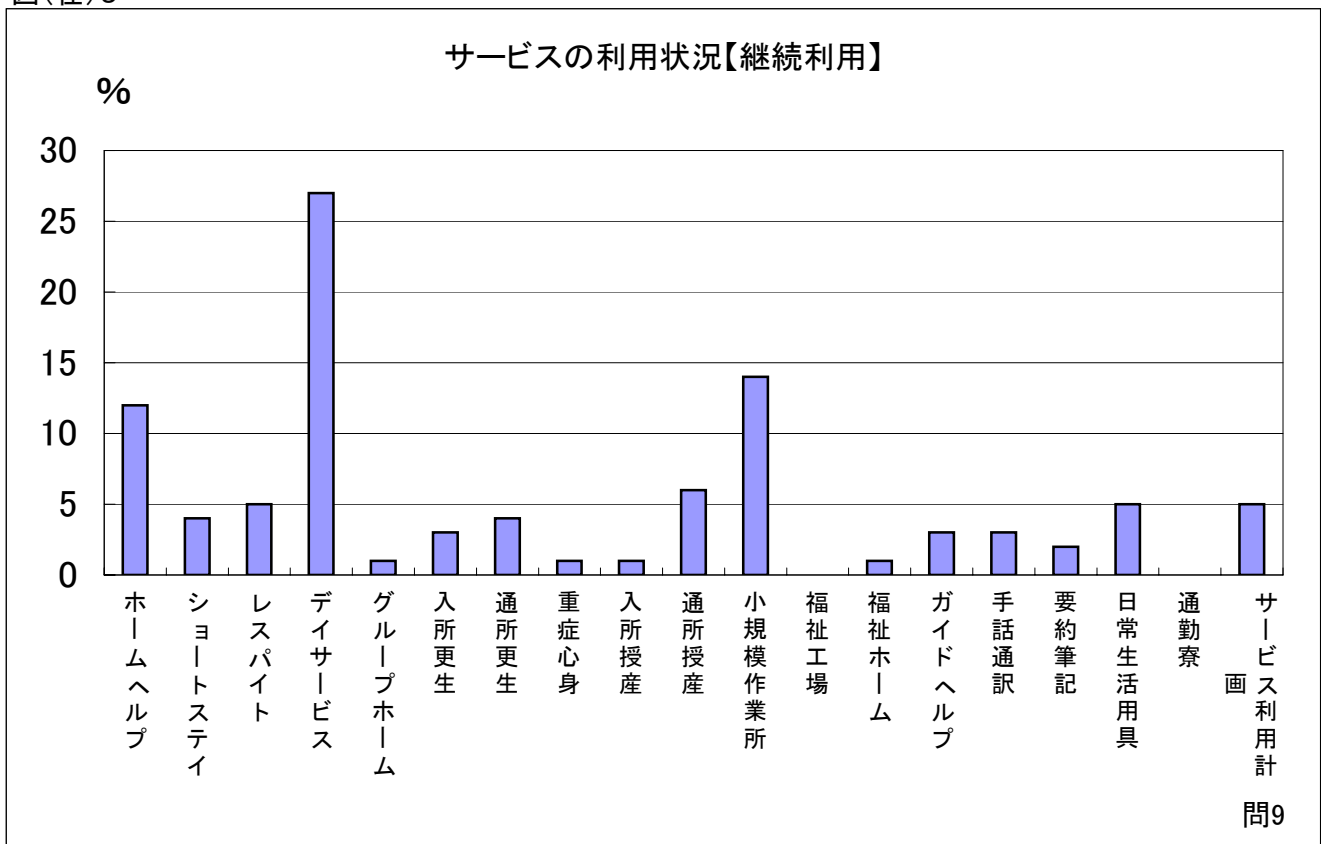
図(在)8の1



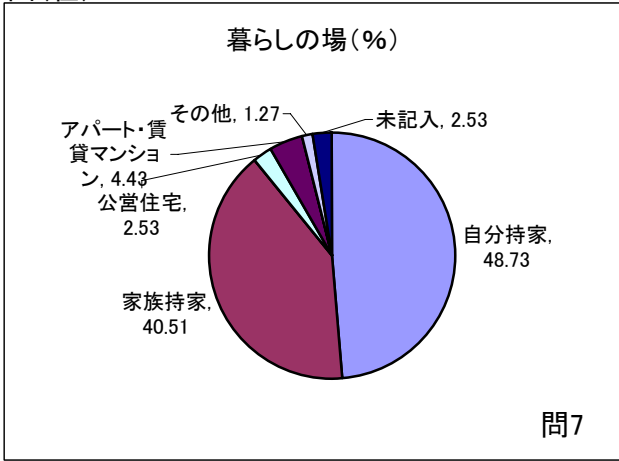
図(在)8の2



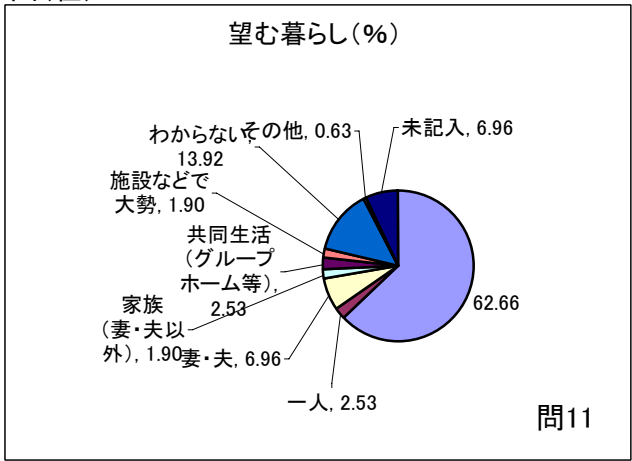
図(在)9



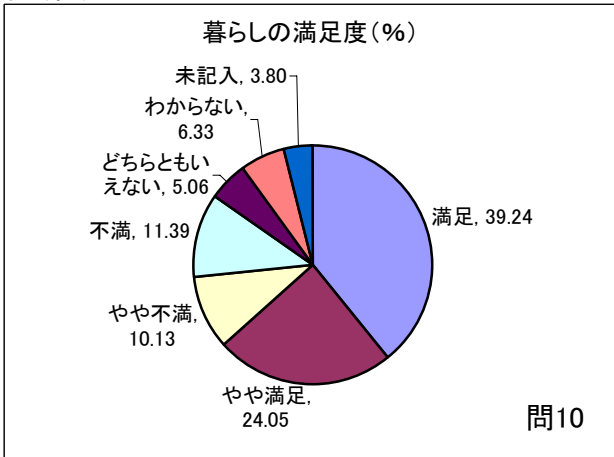
図(在)10



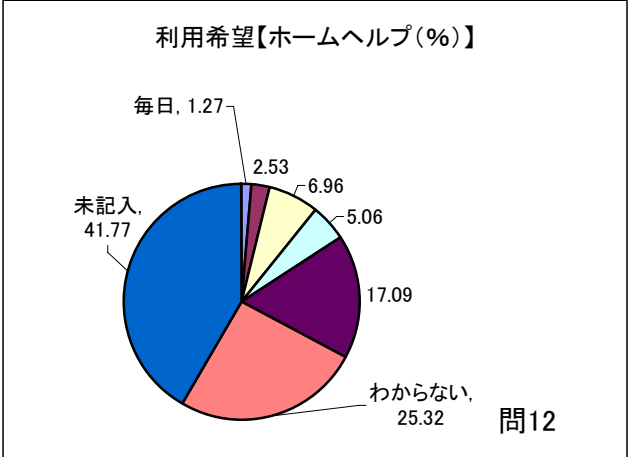
図(在)11



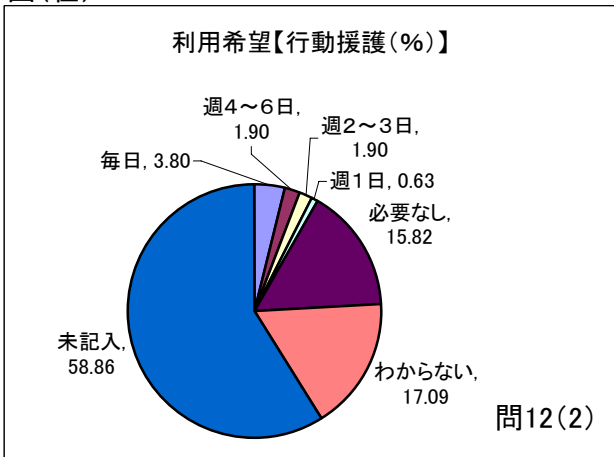
図(在)12



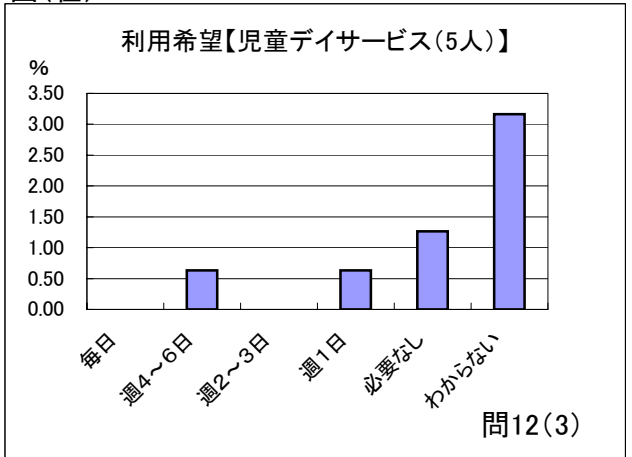
図(在)13



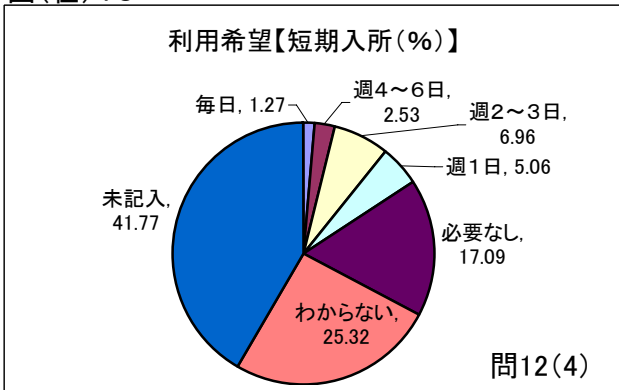
図(在)14



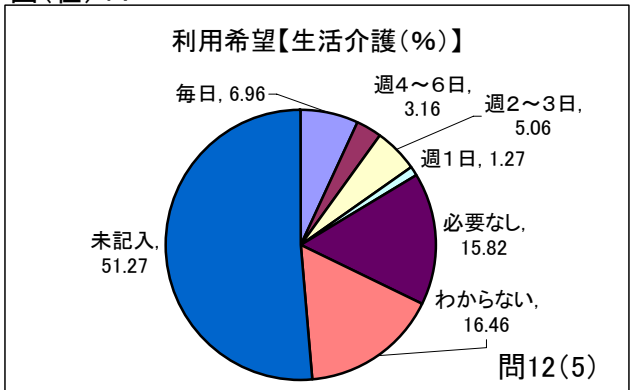
図(在)15



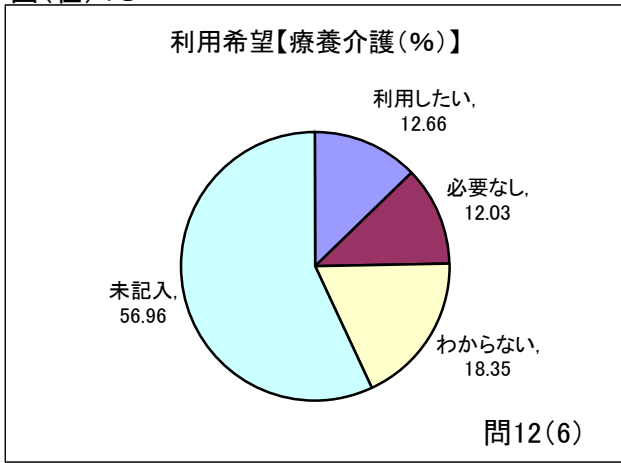
図(在)16



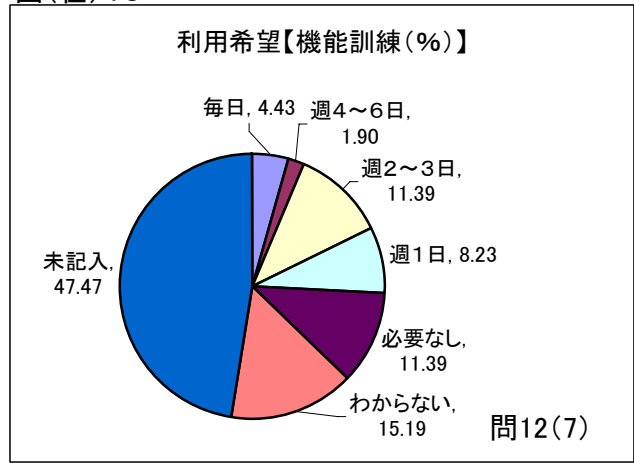
図(在)17



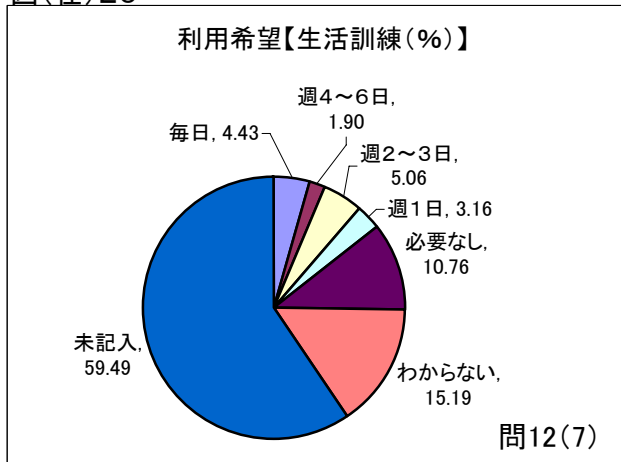
図(在)18



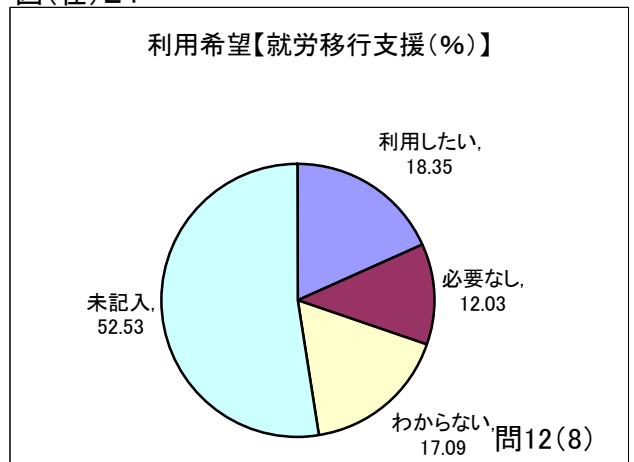
図(在)19



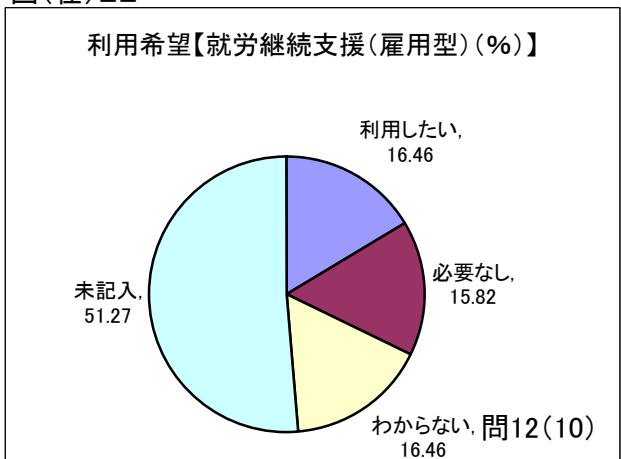
図(在)20



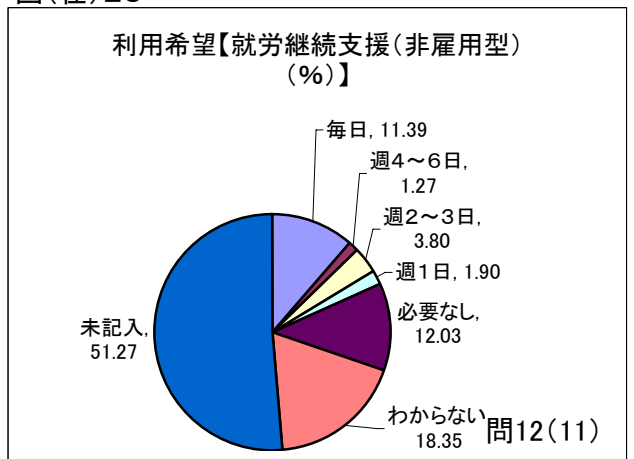
図(在)21



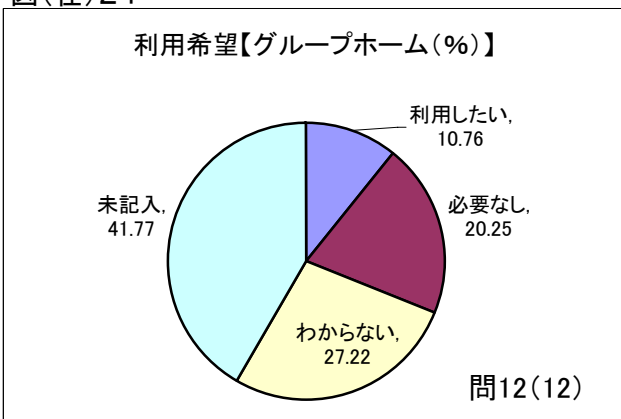
図(在)22



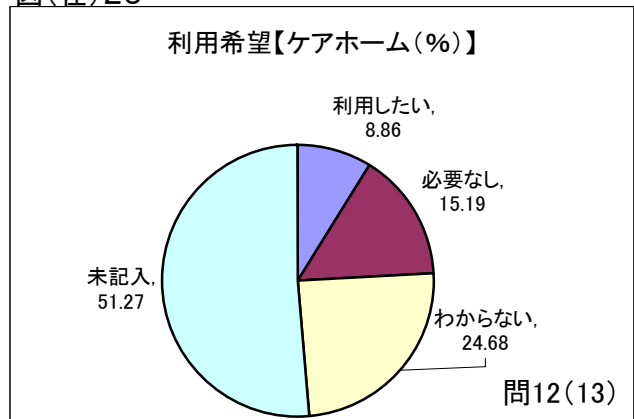
図(在)23



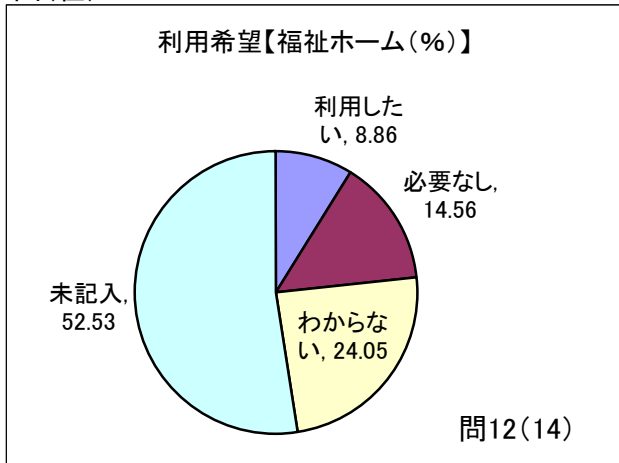
図(在)24



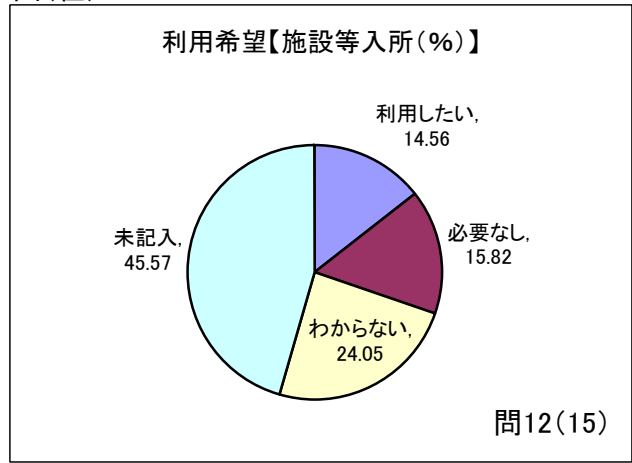
図(在)25



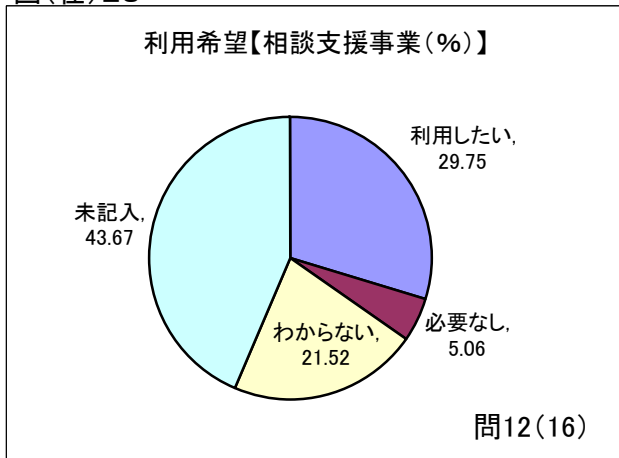
図(在)26



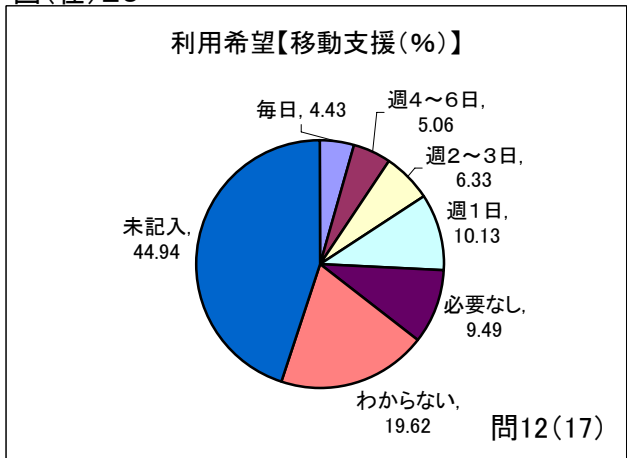
図(在)27



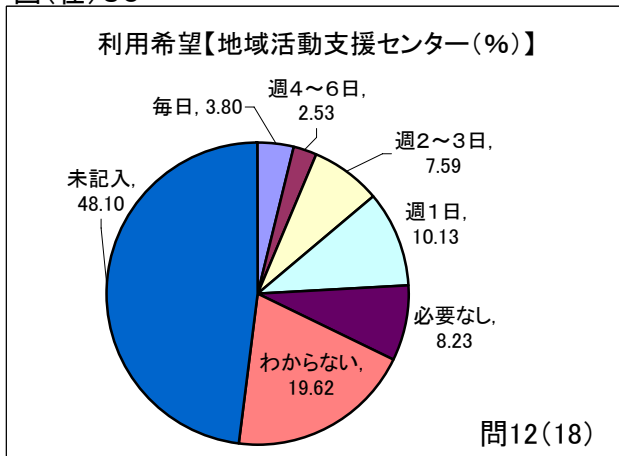
図(在)28



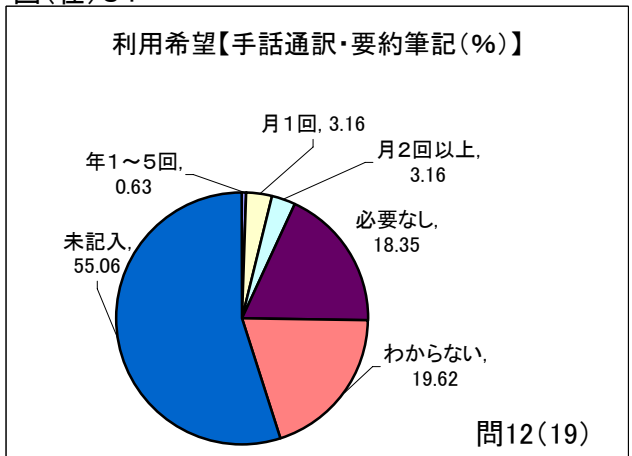
図(在)29



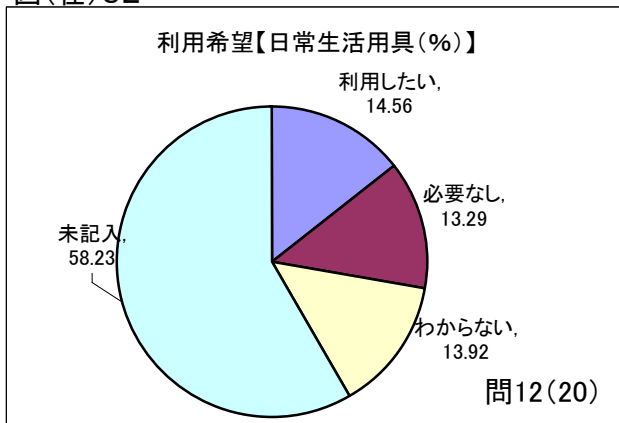
図(在)30



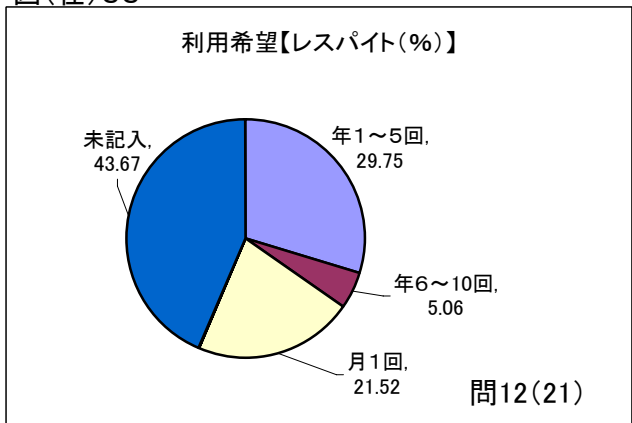
図(在)31



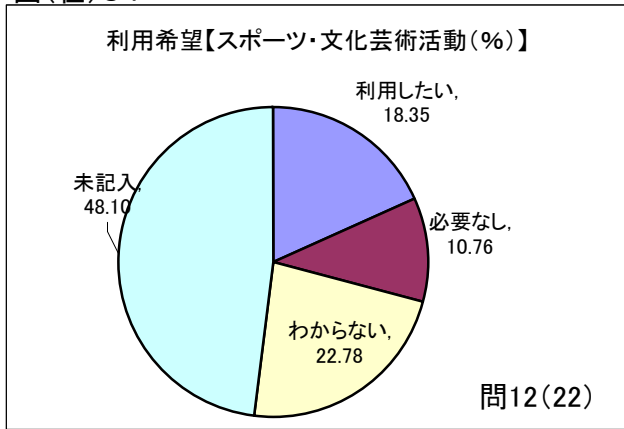
図(在)32



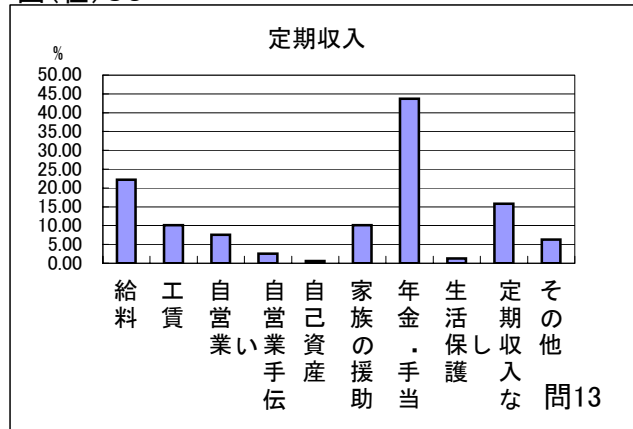
図(在)33



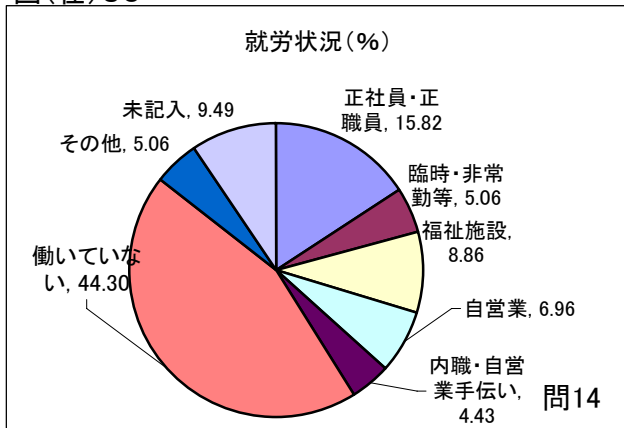
図(在)34



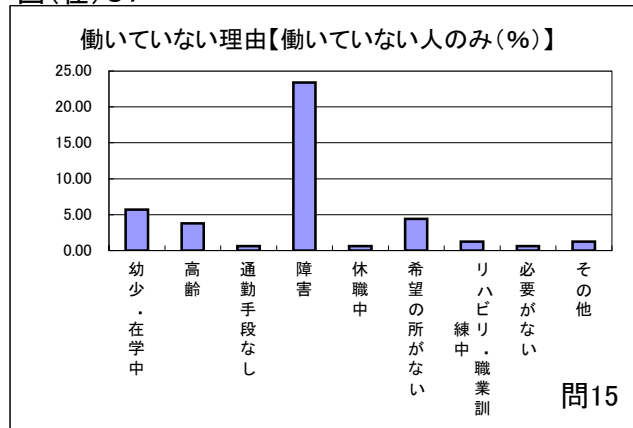
図(在)35



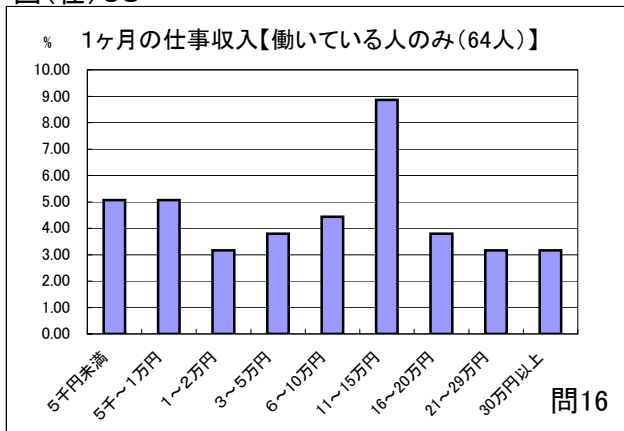
図(在)36



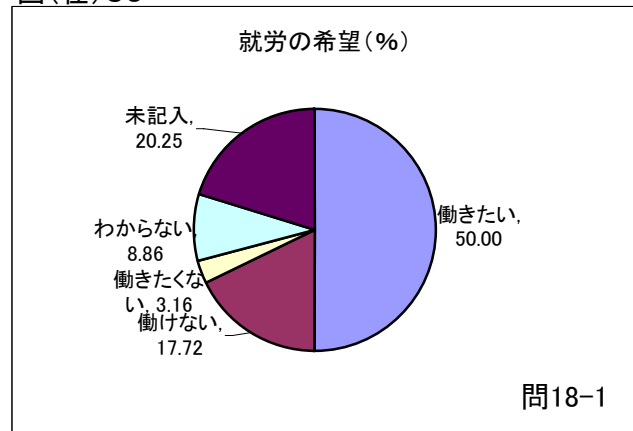
図(在)37



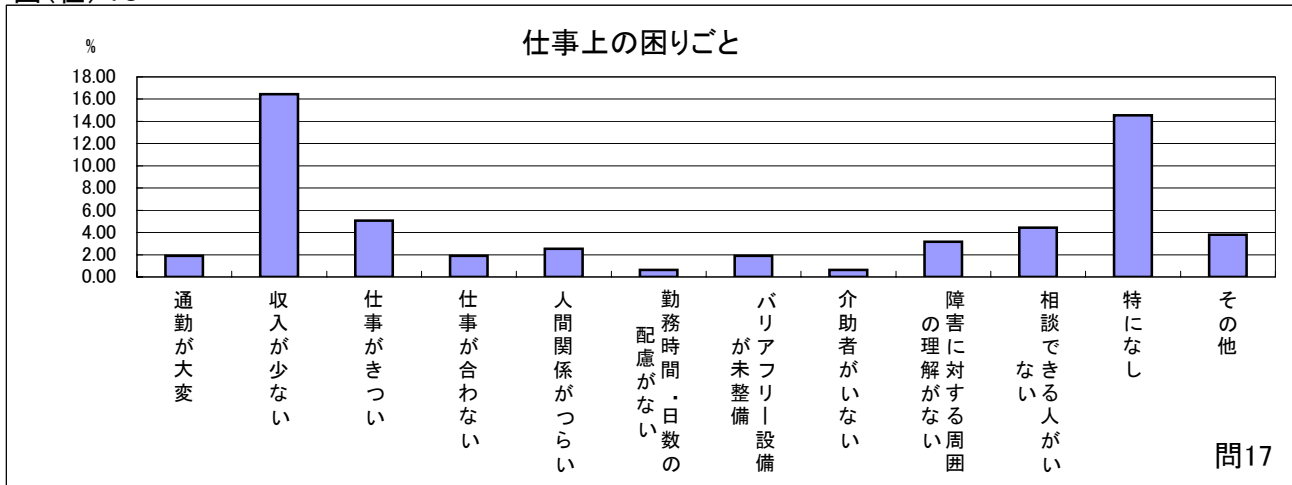
図(在)38



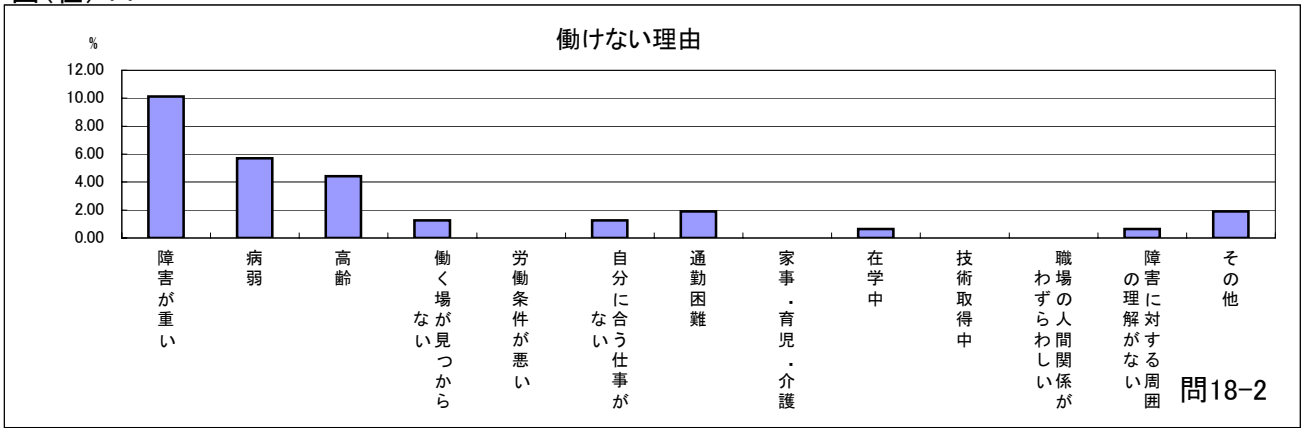
図(在)39



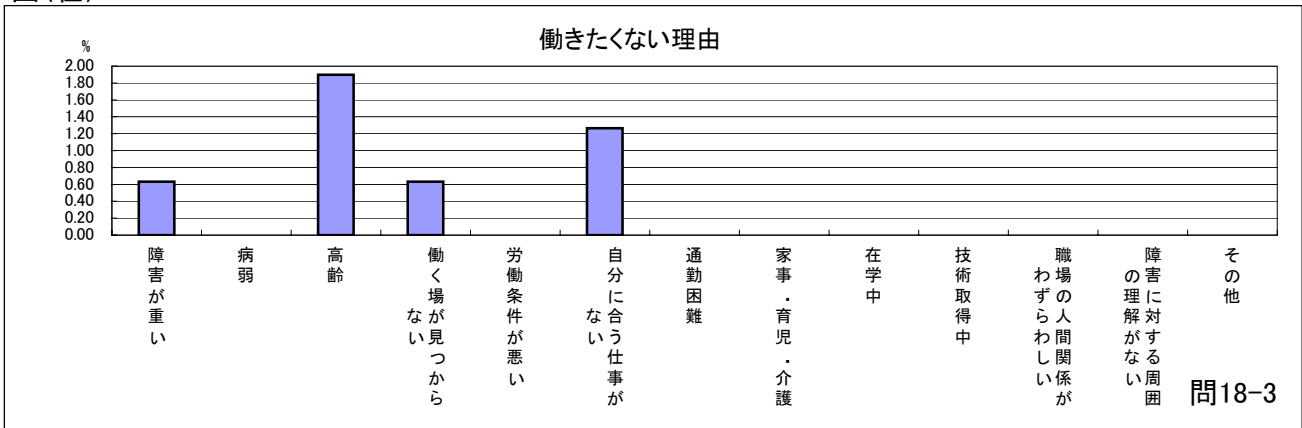
図(在)40



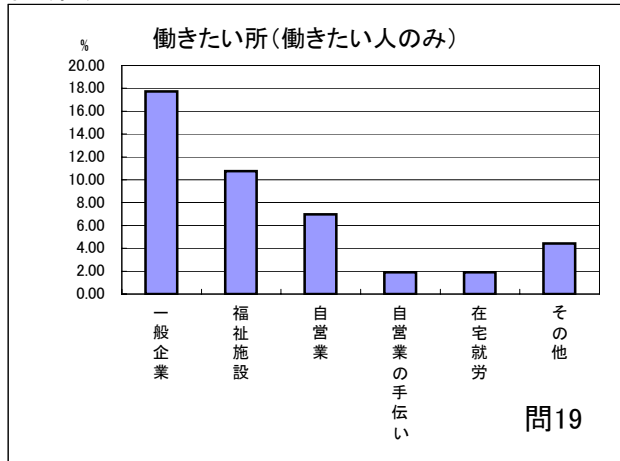
図(在)41



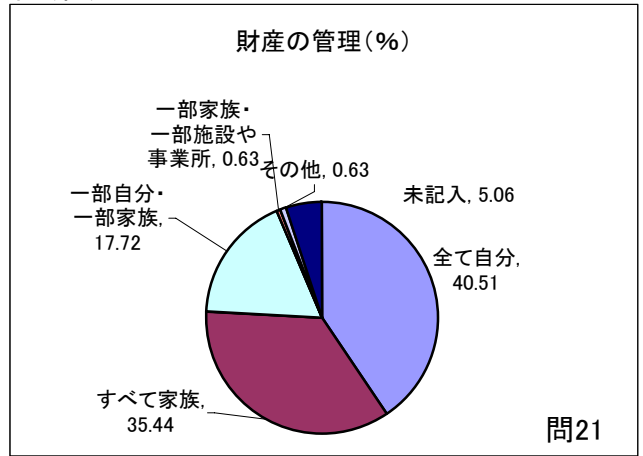
図(在)42



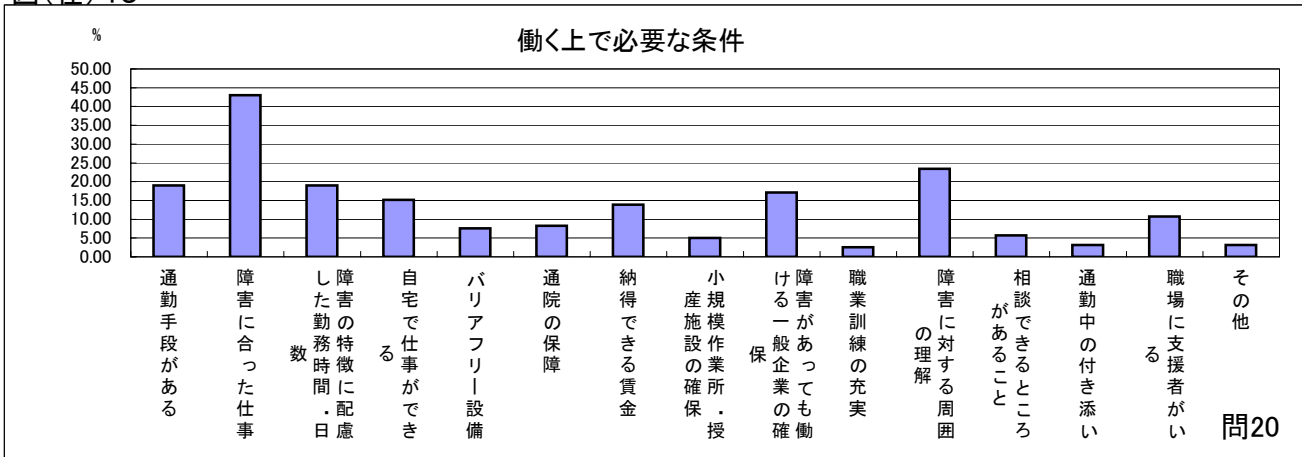
図(在)43



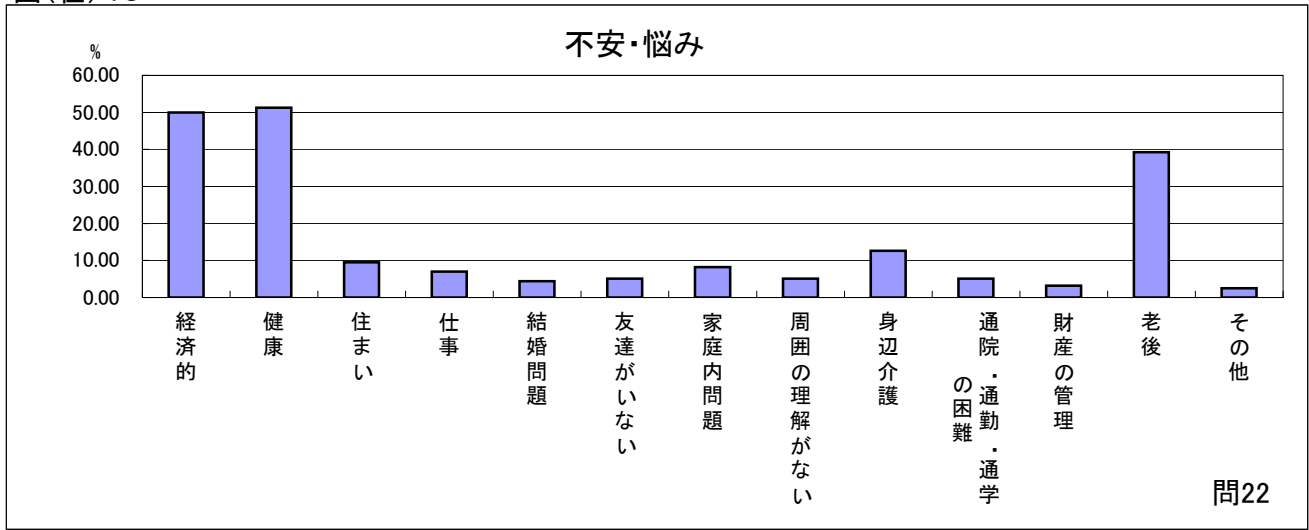
図(在)44



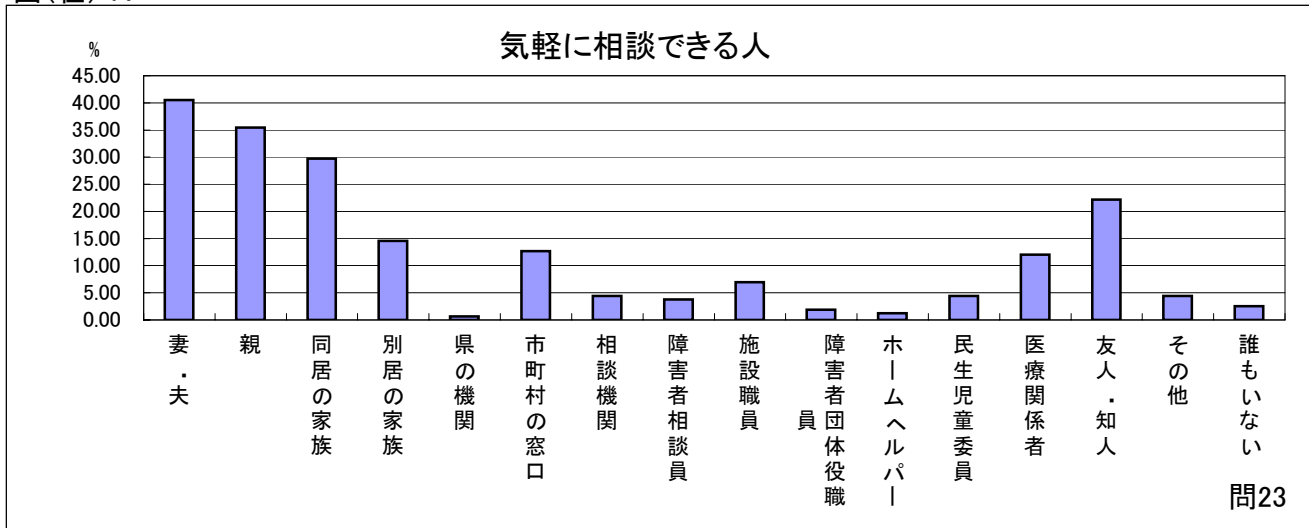
図(在)45



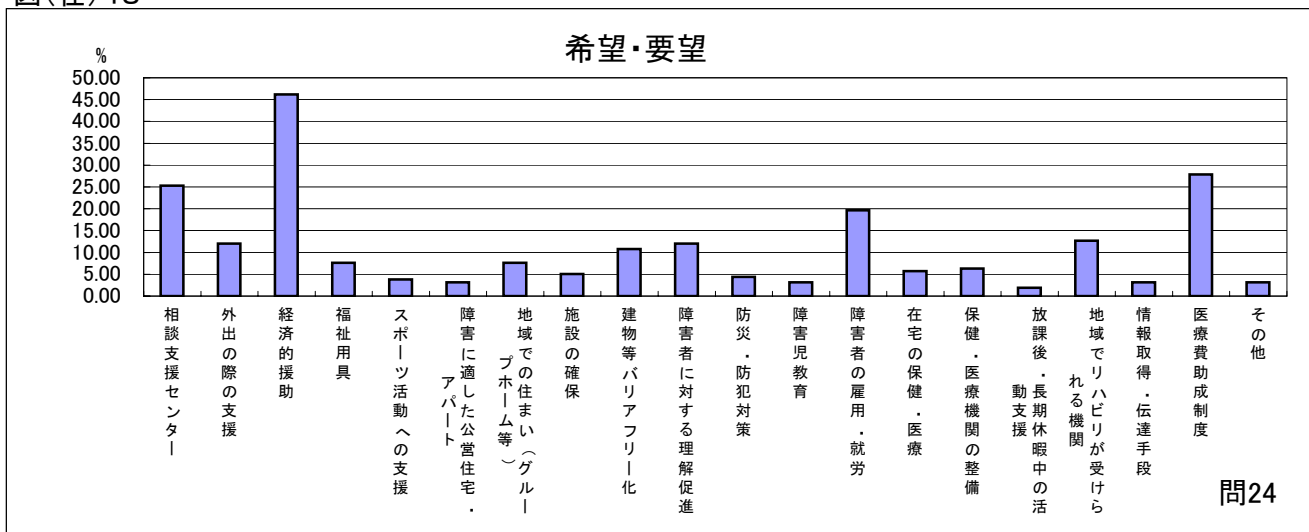
図(在)46



図(在)47



図(在)48



ひょうもくじ
—アンケート 票 目次—

【Ⅰ 基礎的事項】

- 問1 あなたの^{じたく}ご自宅（^{しゅつしんち}出身地）の^{しちょうそん}市町村はどちらですか？ 3
- 問2 あなたの^{ねんれい}年齢はいくつですか？ 3
- 問3 あなたの^{せいべつ}性別はどちらですか？ 3
- 問4 あなたは^{にゅういん}入院してどれくらいになりますか？ 3
- 問5 あなたは、^{しょくじ}食事、^{にゅうよく}入浴、^{みまわ}トイレなどの身の回りのことをひと
りでできますか？ 4
- 問6 あなたは「^{せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう}精神障害者保健福祉手帳」をお持ちですか？ 5

【Ⅱ 生活の場、活動の場】

- 問7 あなたは今の^{いま}暮らしに^{まんぞく}満足していますか？ 7
- 問8 あなたはどのような^{のぞ}暮らしを望んでいますか？ 7
- 問9 あなたがこれから^{のぞ}望む暮らしをする中で、^{なか}不安や^{ふあん}課題だと^{かだい}思わ
^{おも}れることはどれですか？ 7
- 問10 あなたが今後^{こんご}暮らしていく中で、どのような^{なか}サービスを利用
^{りよう}したいと思^{おも}いますか？ 8

【Ⅲ 働く場、収入】

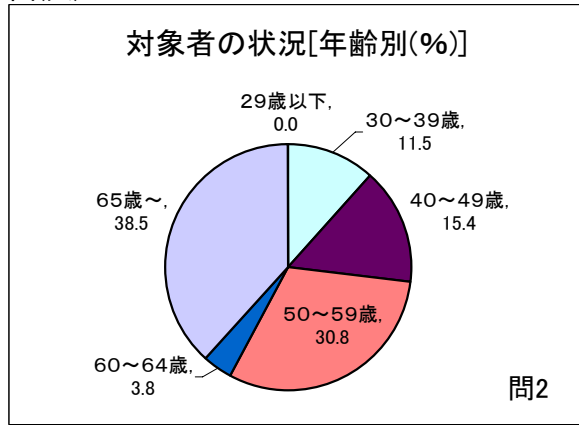
- 問11 あなたには^{ていきてき}定期的な^{しゅうにゅう}収入がありますか？ 11
- 問12 あなたは今後（^{こんご}将来）、^{はたら}働くことを^{きぼう}希望しますか？ 11
- 問13 ^{はたら}どんなところで働きたいですか？ 11
- 問14 あなたが^{はたら}働くうえで、どのような^{じょうけん}条件が^{ひつよう}必要ですか？ 12
- 問15 ^{げんざい}現在、あなたの^{かね}お金や^{ざいさん}財産は、^{だれ}誰が^{かんり}管理していますか？ 12

【Ⅳ 希望・要望】

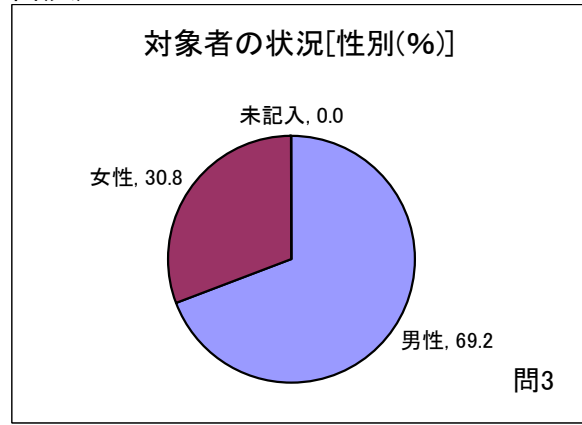
- 問16 あなたが^く暮らしやすくなるために、^{じゅうじつ}充実してほしいことは
^{なん}何ですか？ 13
- 問17 ^{ひつよう}必要な^{ふくし}福祉サービスなど、^{しょうがいしゃふくし}障害者福祉についてあなたが
^{かんが}お考えになっていることがありましたら、^{じゆう}ご自由にお書きくだ
^かさい。 14

精神障害者：入院(26人)

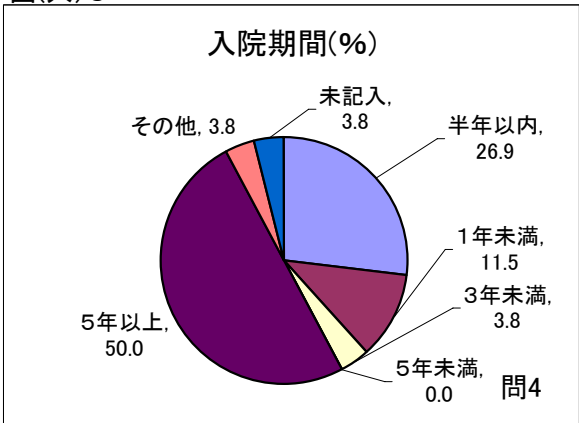
図(入)1



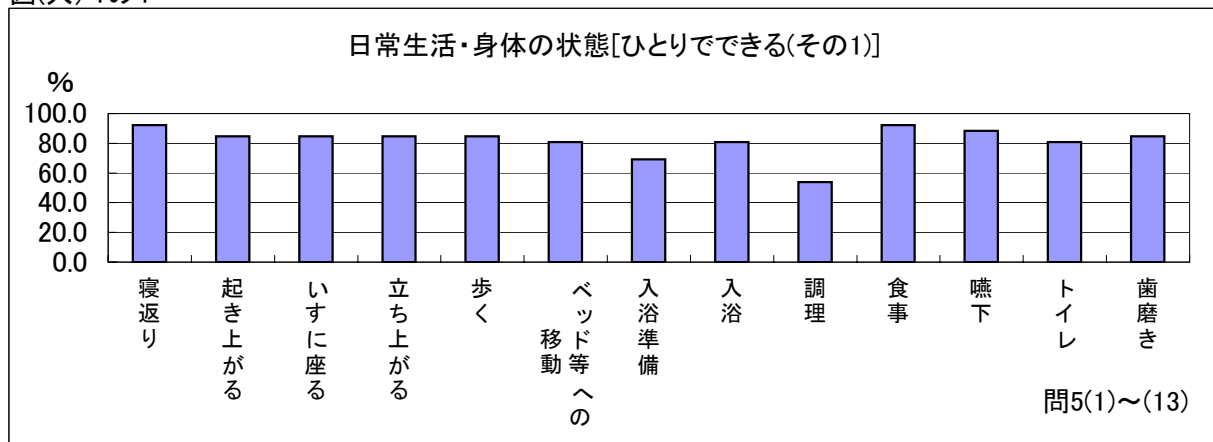
図(入)2



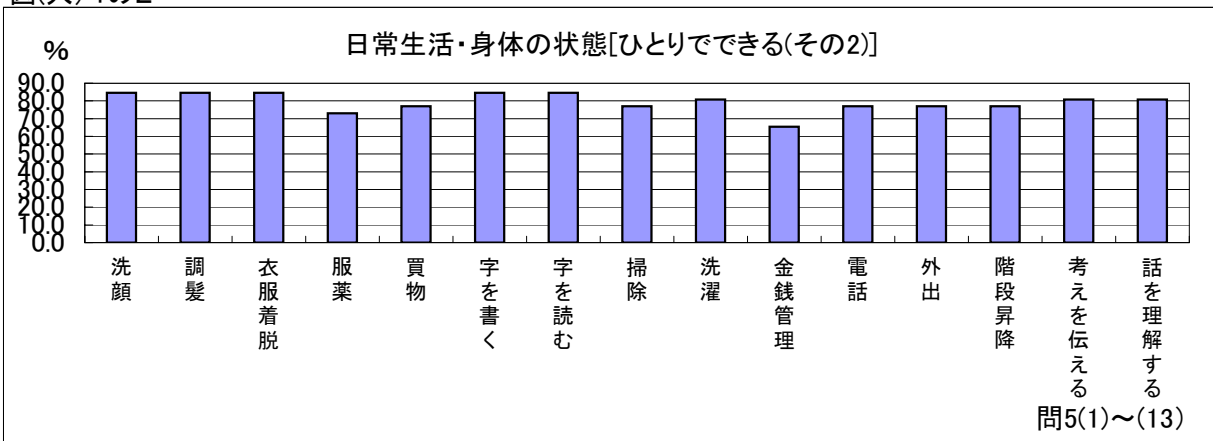
図(入)3



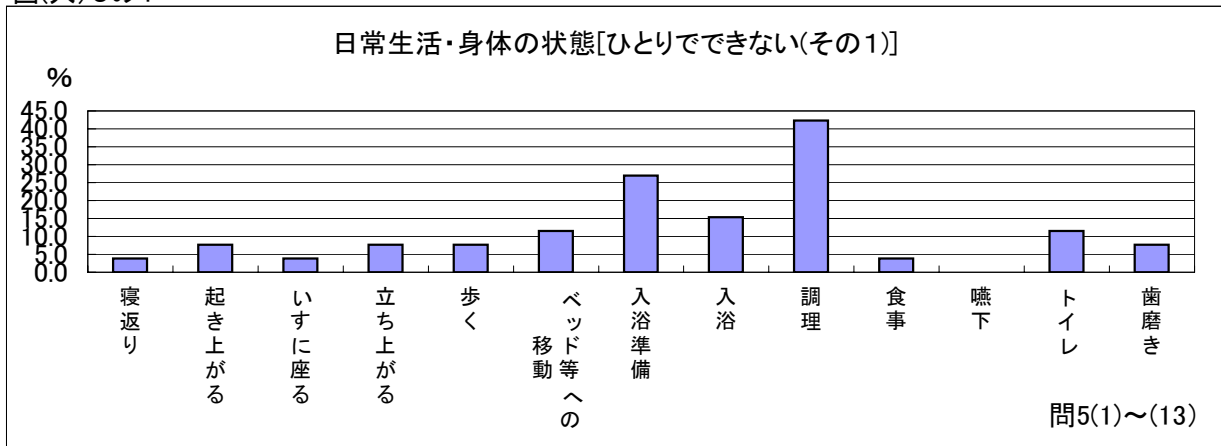
図(入)4の1



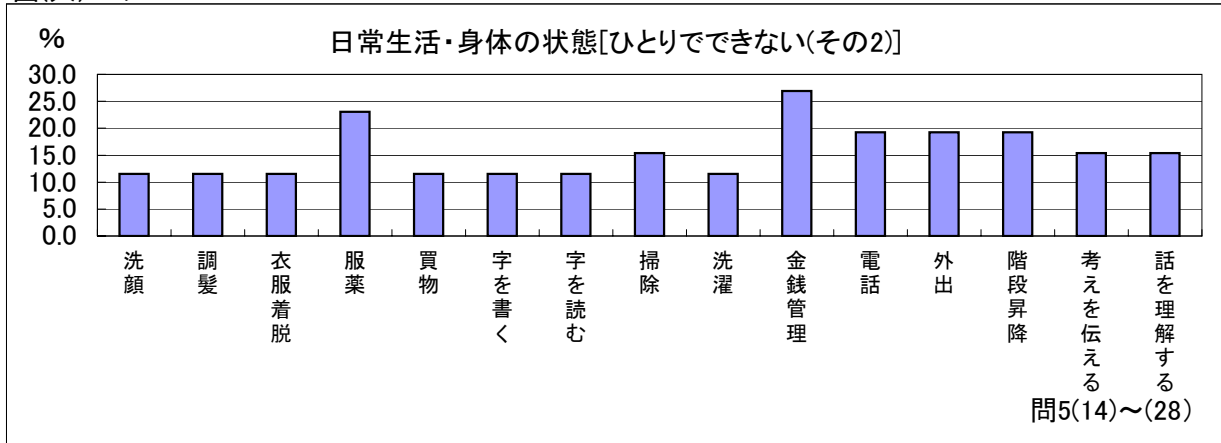
図(入)4の2



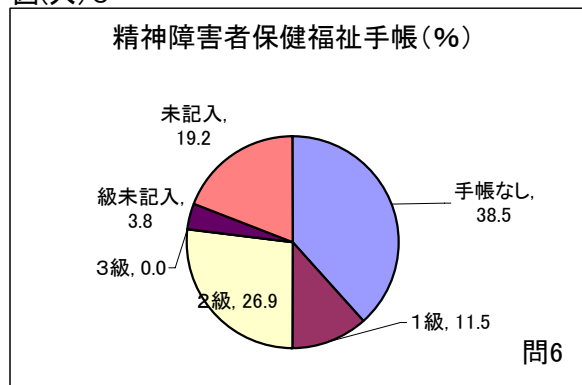
図(入)5の1



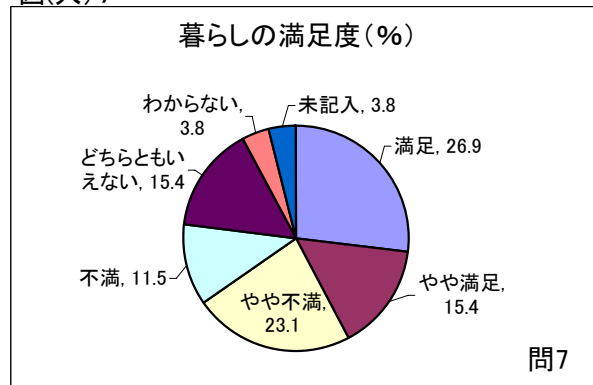
図(入)5の2



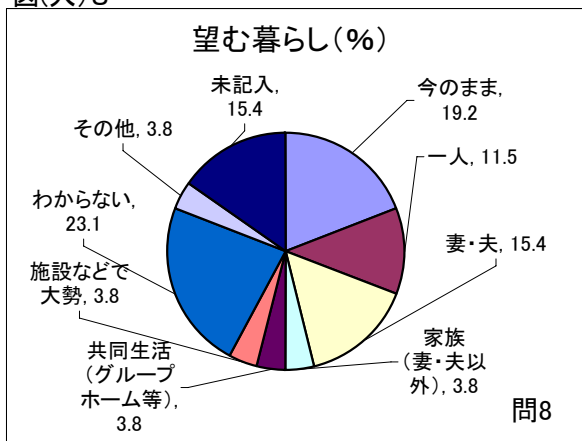
図(入)6



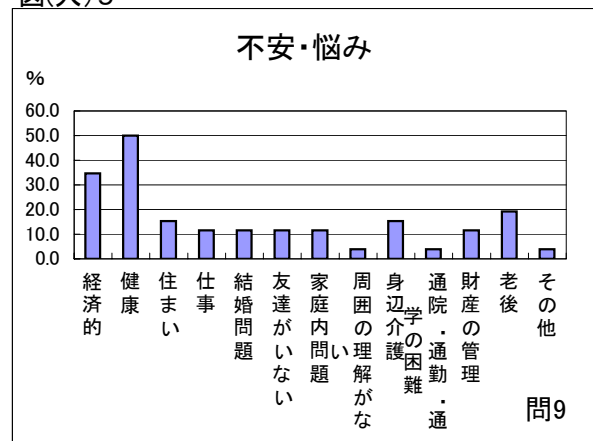
図(入)7



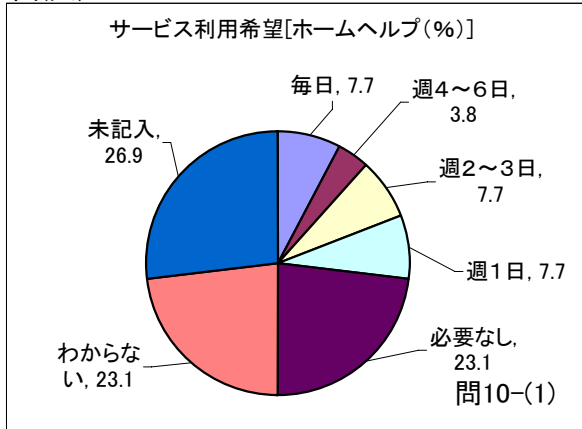
図(入)8



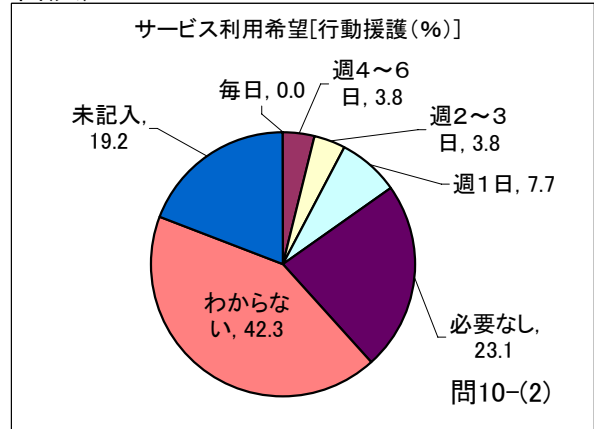
図(入)9



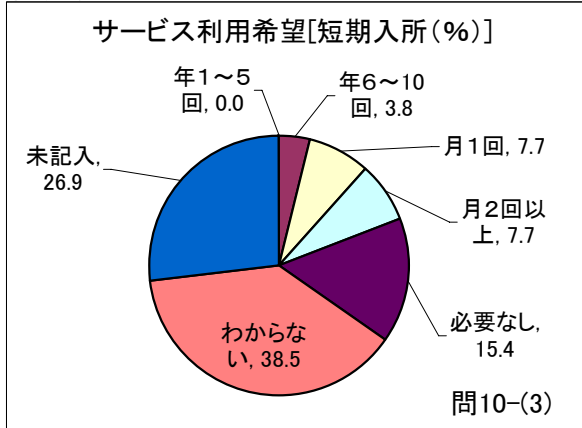
図(入)10



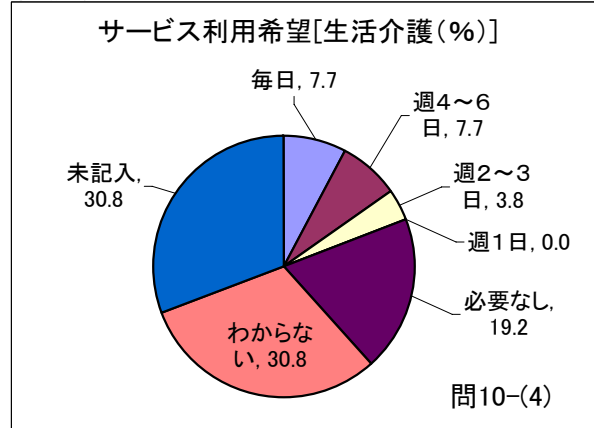
図(入)11



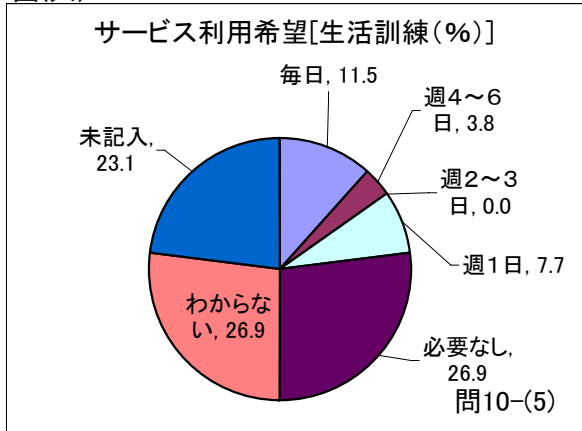
図(入)12



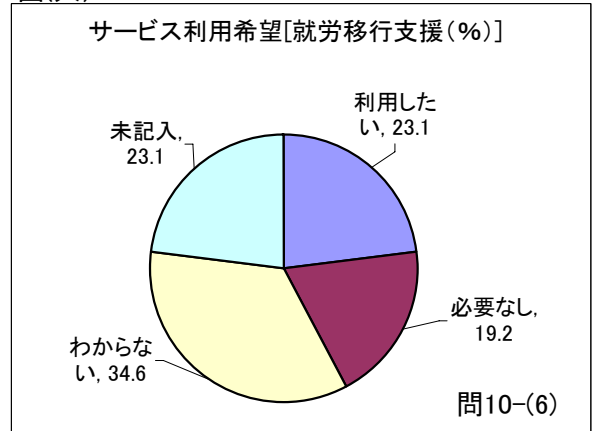
図(入)13



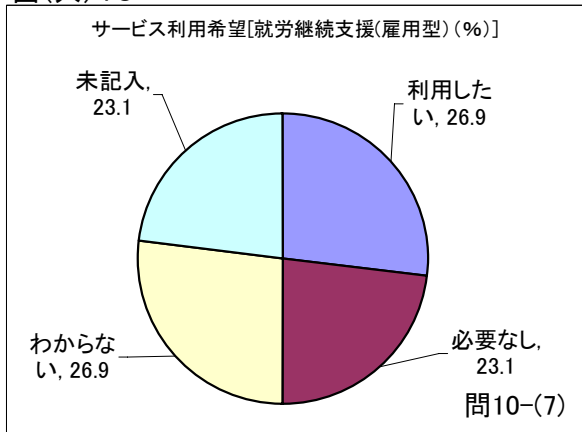
図(入)14



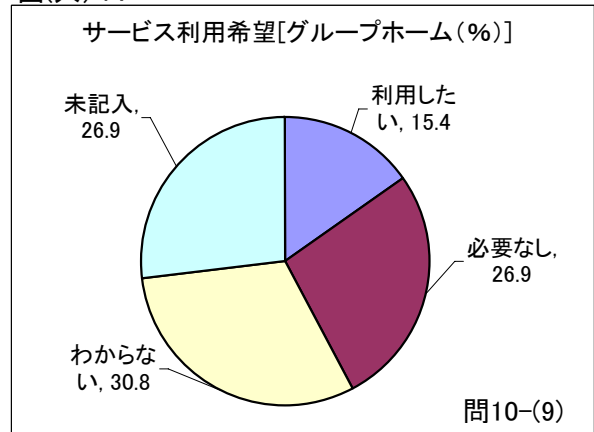
図(入)15



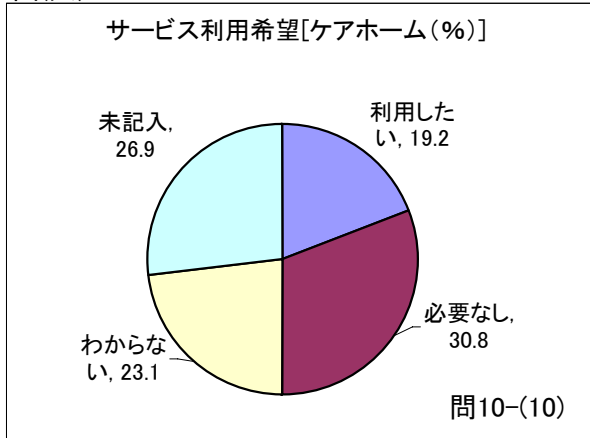
図(入)16



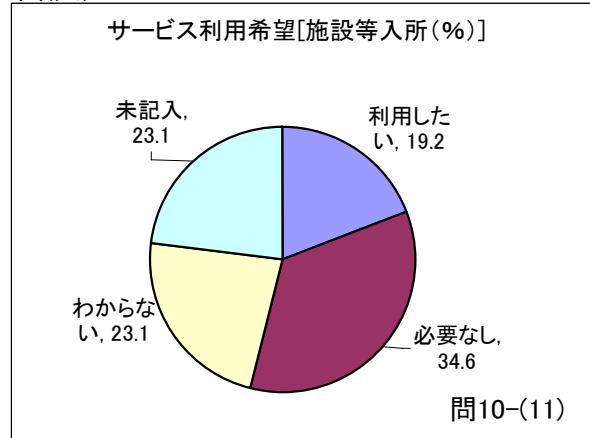
図(入)17



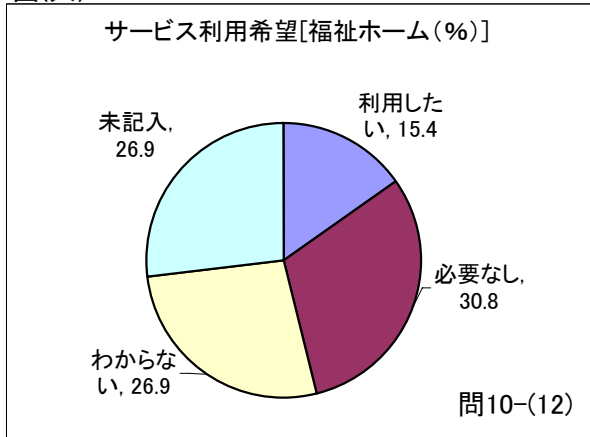
図(入) 18



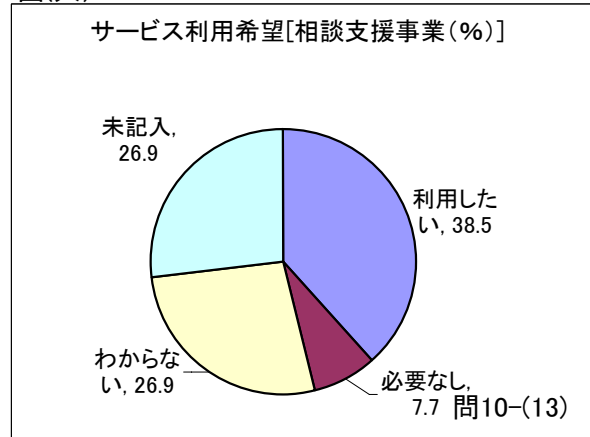
図(入) 19



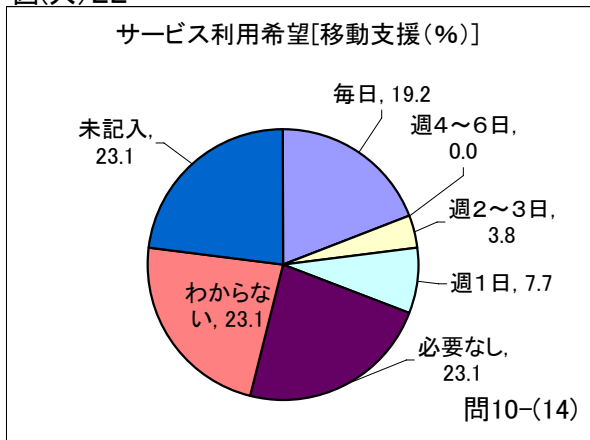
図(入) 20



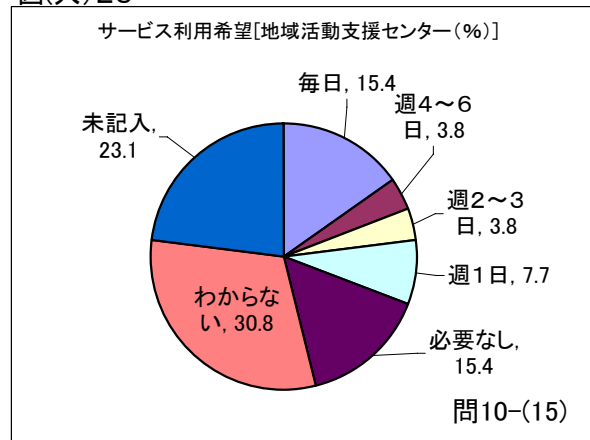
図(入) 21



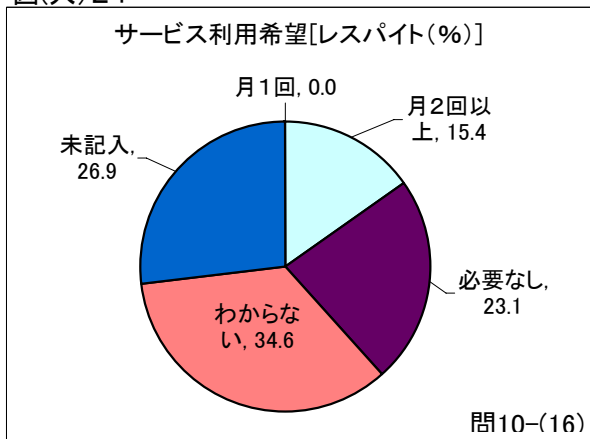
図(入) 22



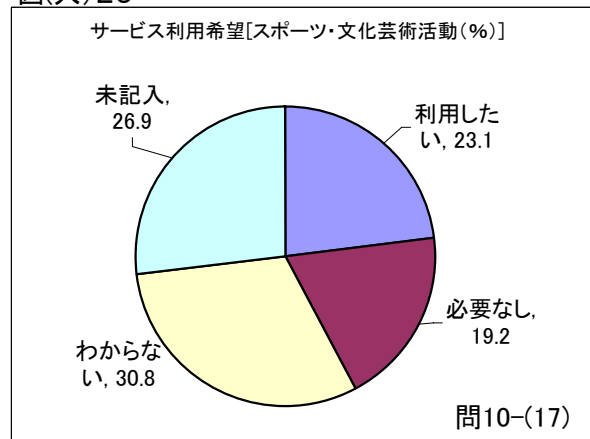
図(入) 23



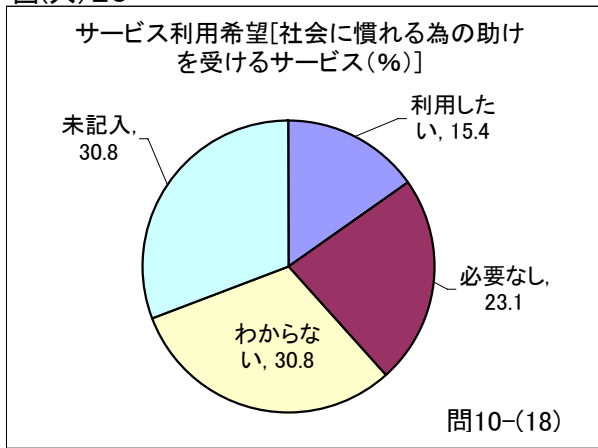
図(入) 24



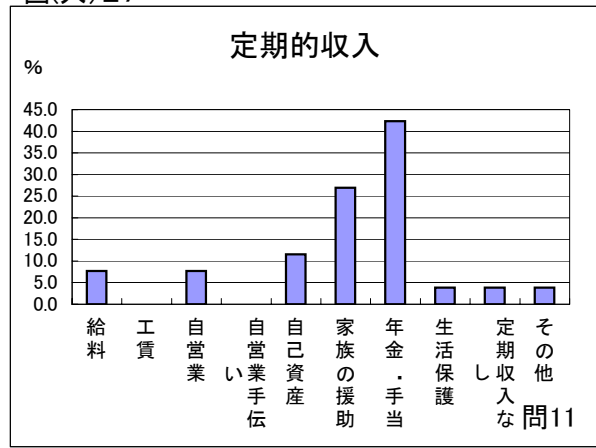
図(入) 25



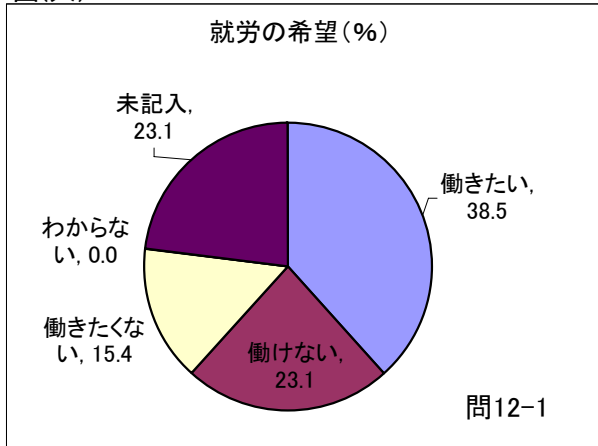
図(入)26



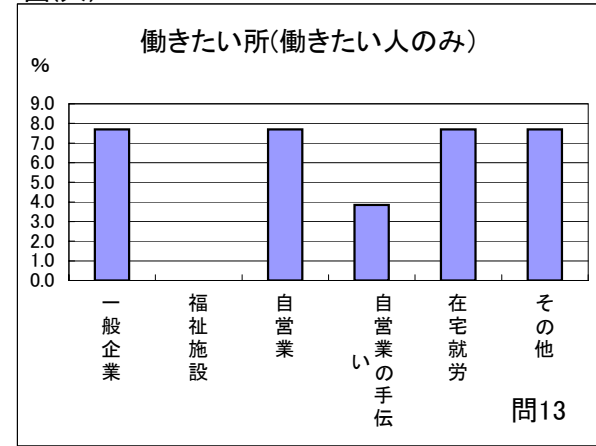
図(入)27



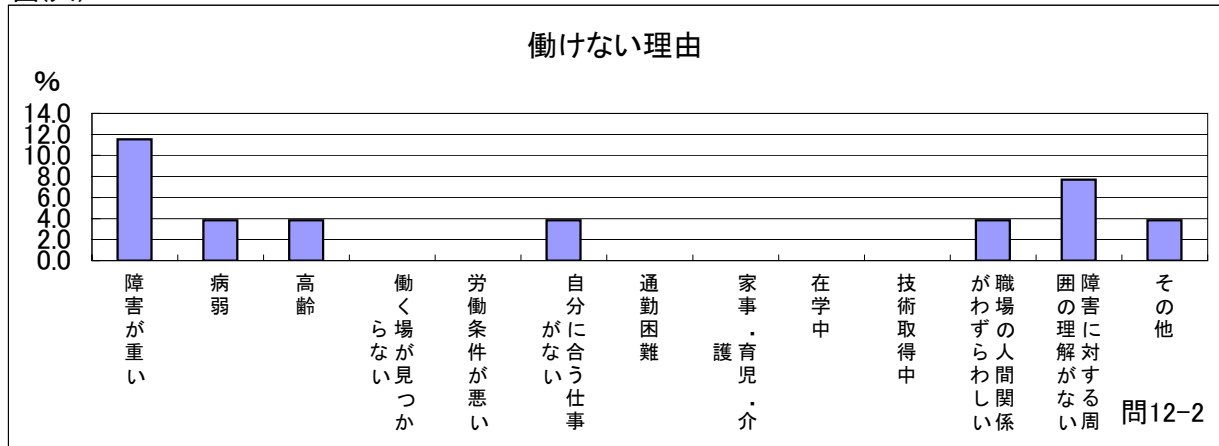
図(入)28



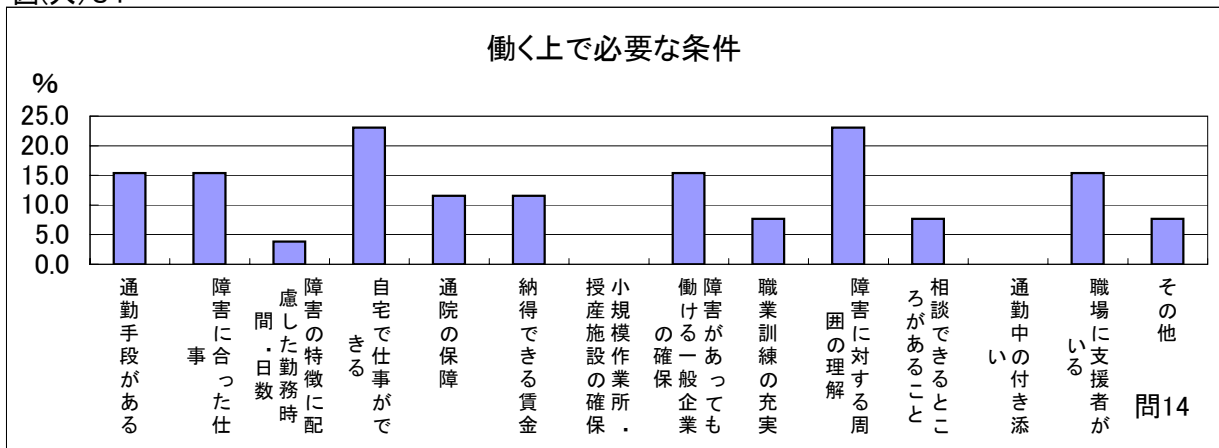
図(入)29



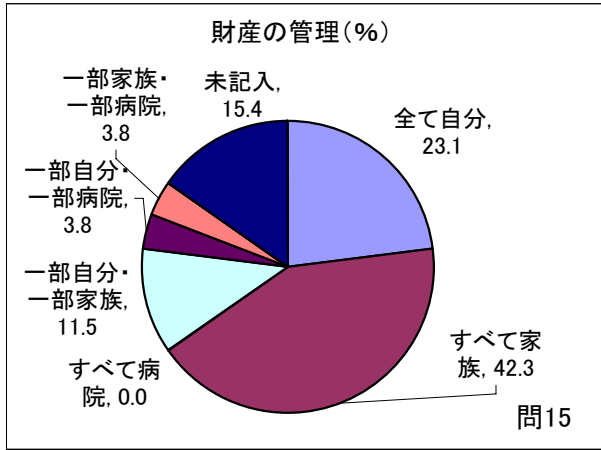
図(入)30



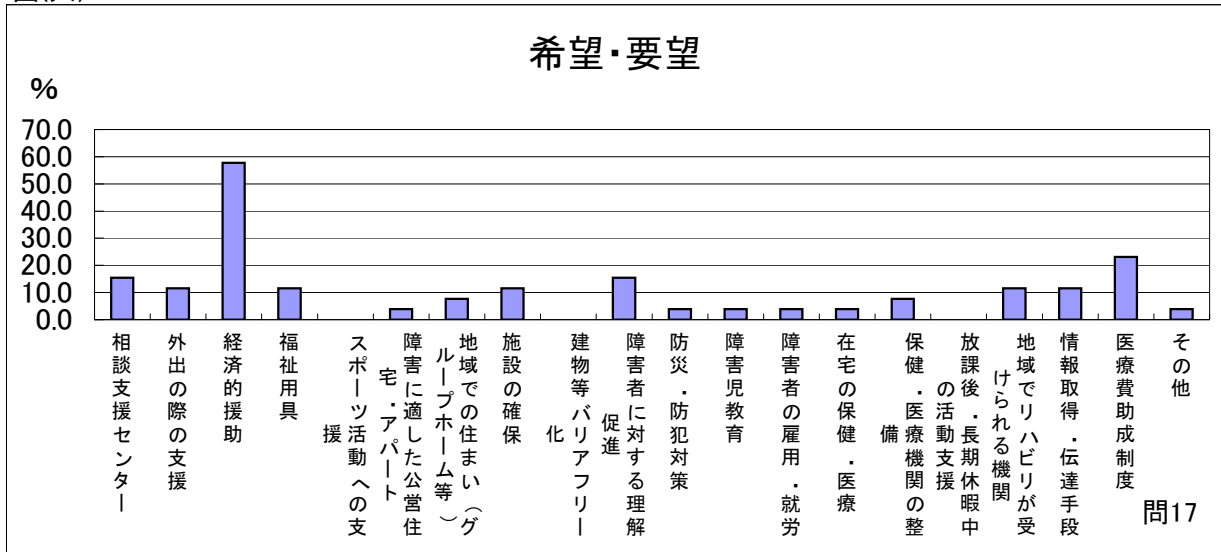
図(入)31



図(入)32



図(入)33

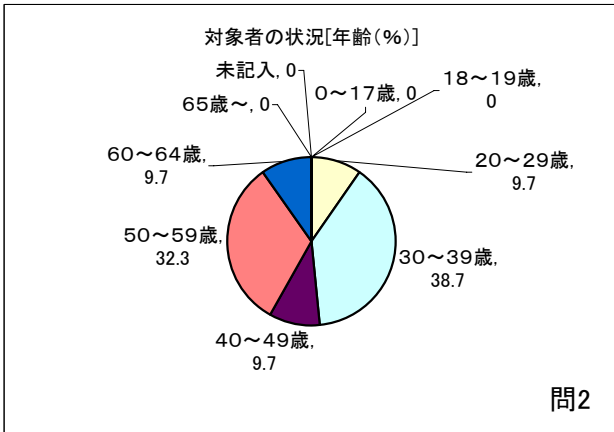


—アンケート 票目次—

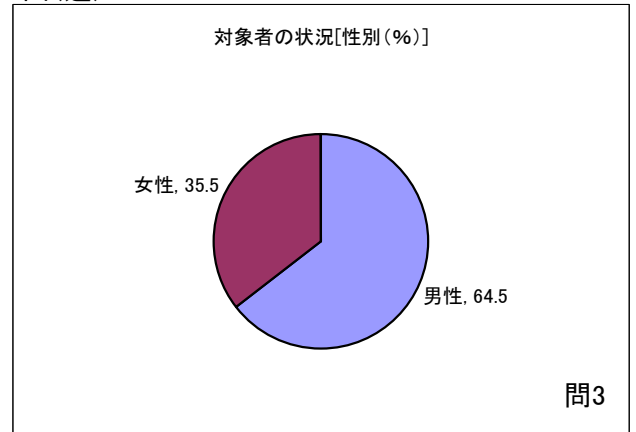
【Ⅰ 基礎的事項】		
問1	あなたのお住まいの市町村はどちらですか？	3
問2	あなたの年齢はいくつですか？	3
問3	あなたの性別はどちらですか？	3
問4	あなたは今だれと暮らしていますか？	3
問5	あなたは、食事、入浴、トイレなどの身の回りのことをひとり りでできますか？	4
問6	あなたは「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちですか？	5
【Ⅱ 生活の場、活動の場】		
問7	あなたは今どこで暮らしていますか？	6
問8	あなたは、現在どのようなサービスを利用していますか？	6
問9	あなたは今の暮らしに満足していますか？	7
問10	あなたはどのような暮らしを望んでいますか？	8
問11	あなたが今後暮らしていく中で、どのようなサービスを利用 したいと思いますか？	8
【Ⅲ 働く場、収入】		
問12	あなたには定期的な収入がありますか？	12
問13	あなたは今、働いていますか？	12
問14	働いていないのはどのような理由によりますか？	12
問15	1ヶ月間の仕事による収入はどれくらいですか？	12
問16	仕事をするうえで困ったり、つらいことは主にどのようなこ とですか？	13
問17	あなたは今後（将来）、働くことを希望しますか？	13
問18	どんなところで働きたいですか？	13
問19	あなたが働くうえで、どのような条件が必要ですか？	14
問20	現在、あなたのお金や財産は、誰が管理していますか？	14
【Ⅳ 不安・相談】		
問21	あなたは今の生活の中で、困っていることや将来に対する 不安、悩みなどはありますか？	15
問22	あなたが困ったときに、気軽に相談できる人はだれですか？	15
【Ⅴ 希望・要望】		
問23	あなたが暮らしやすくなるために、充実してほしいことは 何ですか？	16
問24	必要な福祉サービスなど、福祉についてあなたがお考えにな っていることがありましたら、ご自由にお書きください。	16

精神障害者：通院(33人)

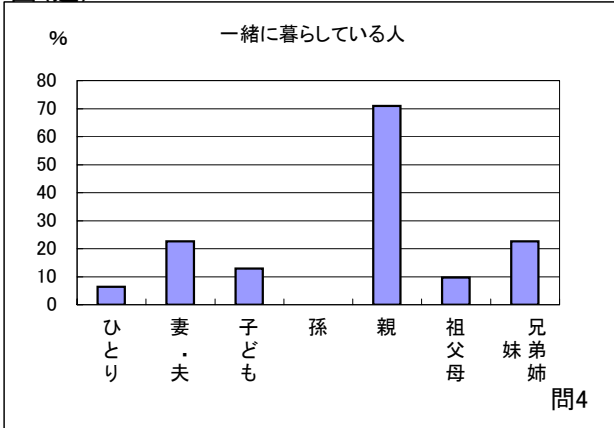
図(通)1



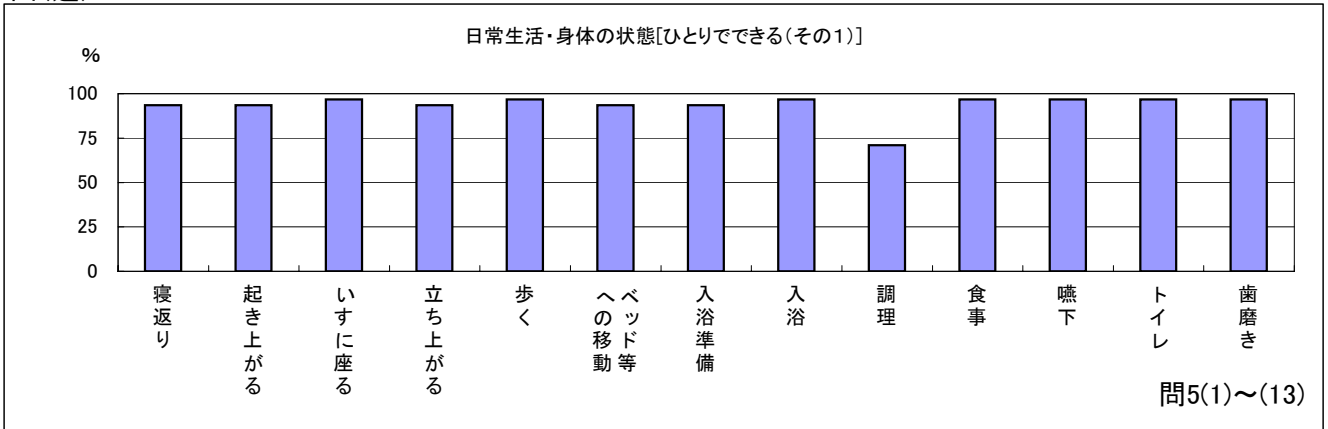
図(通)2



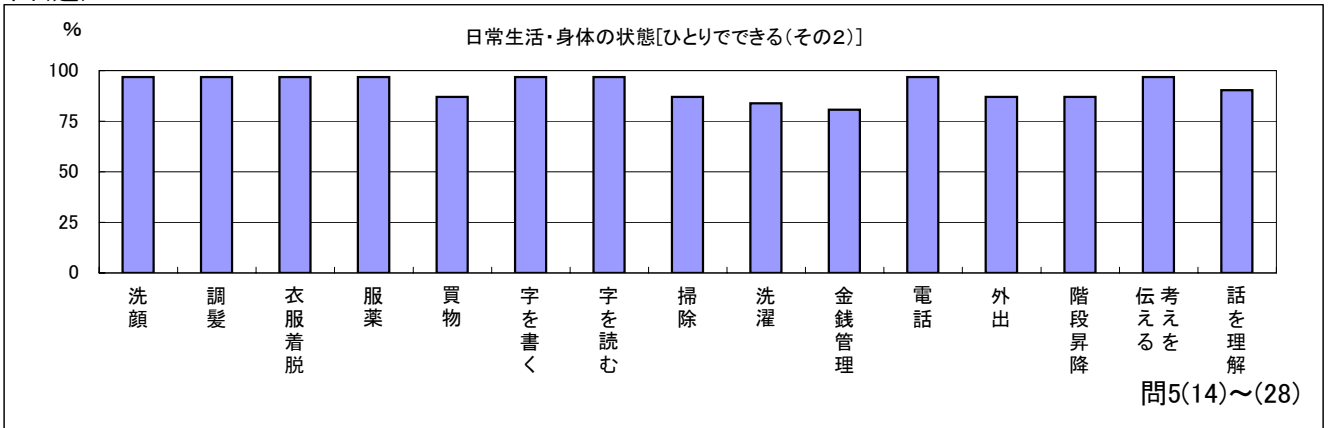
図(通)3



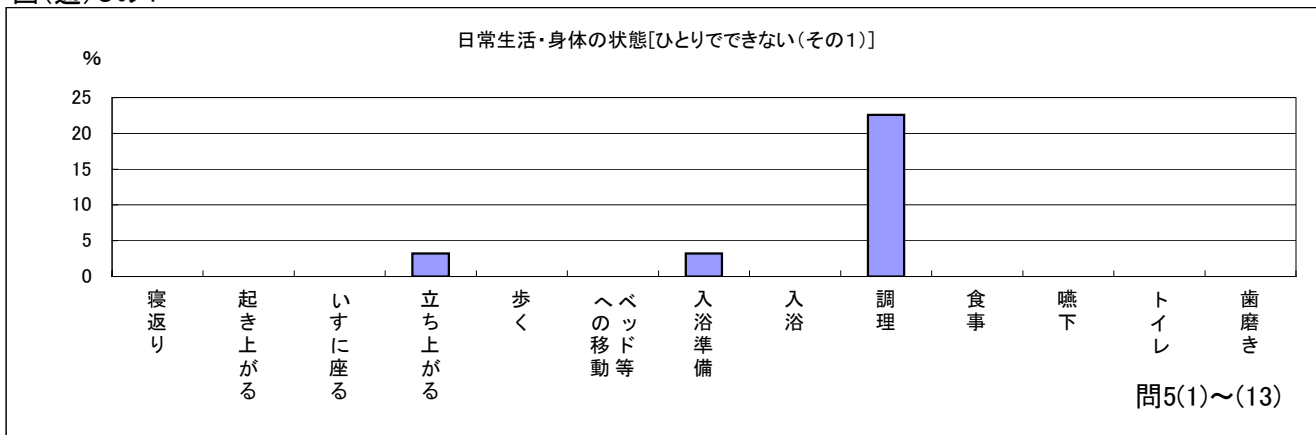
図(通)4の1



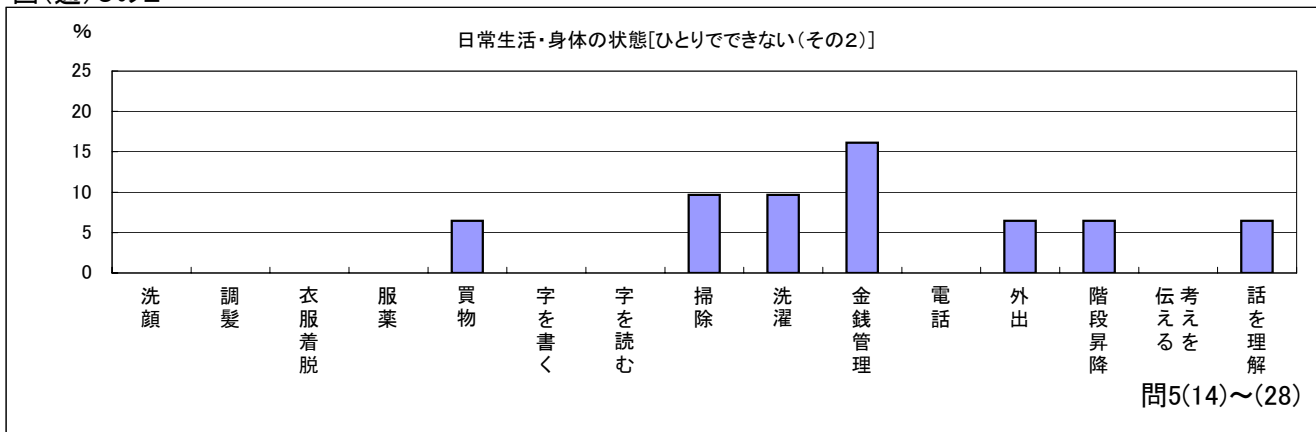
図(通)4の2



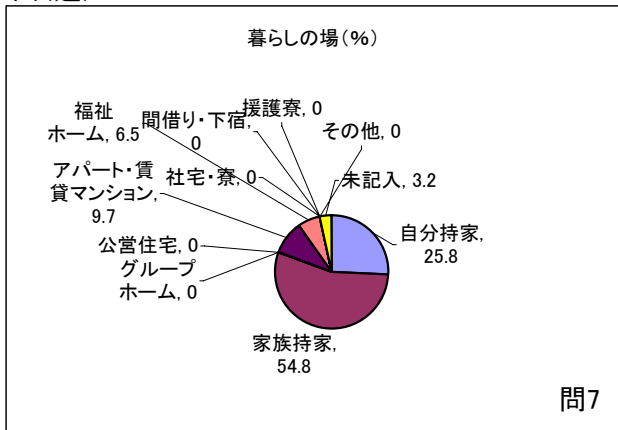
図(通)5の1



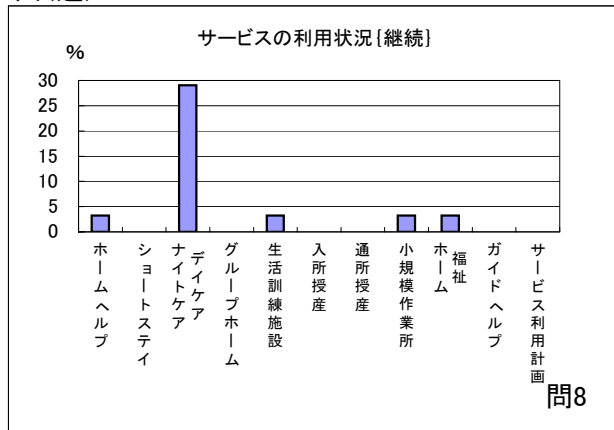
図(通)5の2



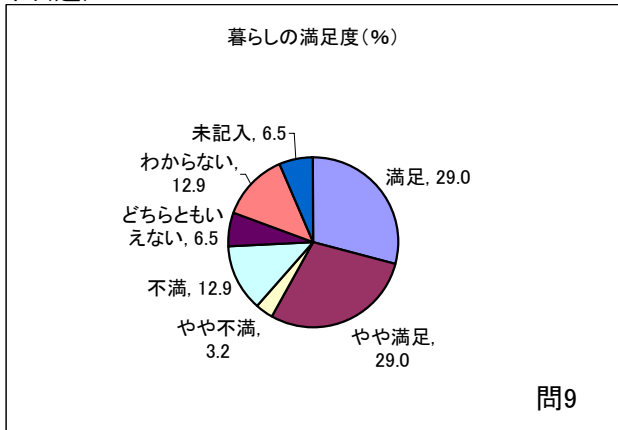
図(通)6



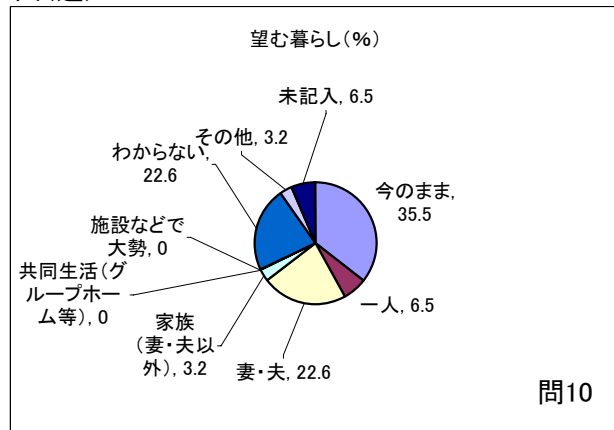
図(通)7



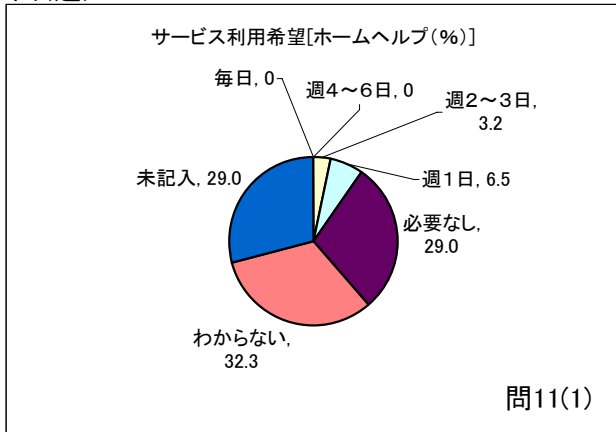
図(通)8



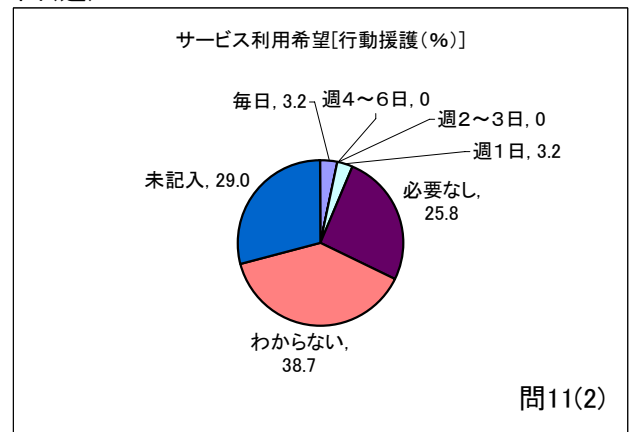
図(通)9



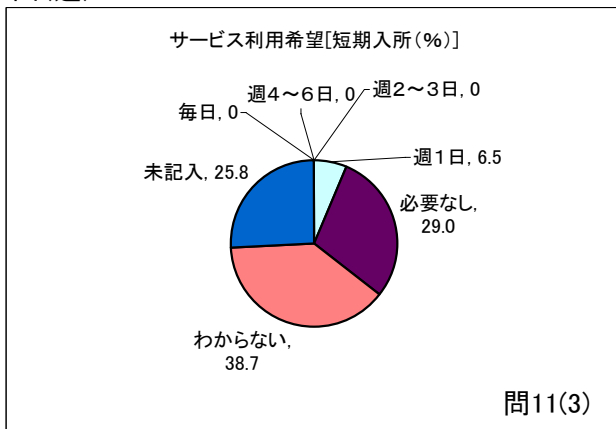
図(通)10



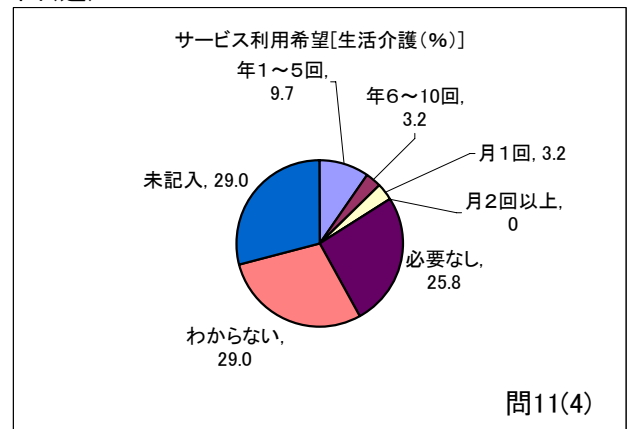
図(通)11



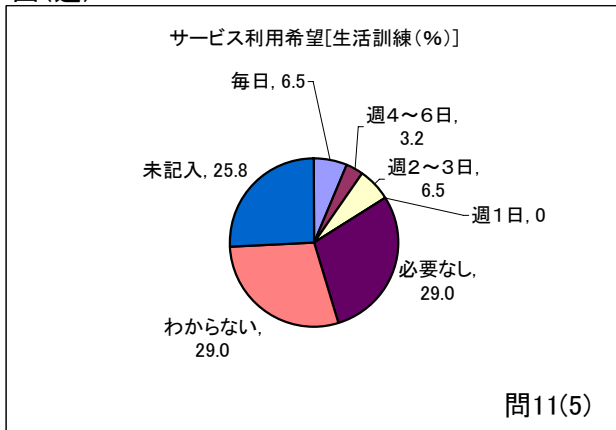
図(通)12



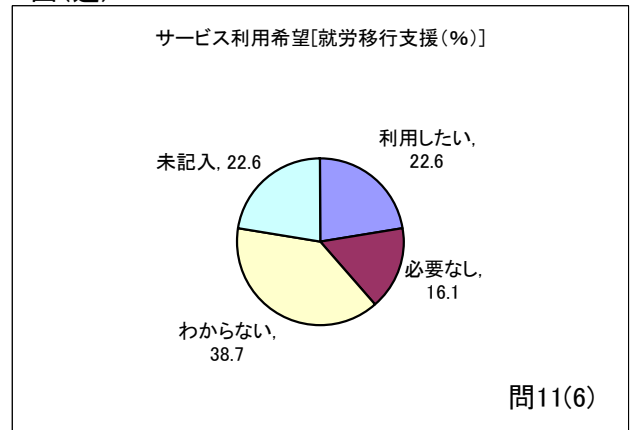
図(通)13



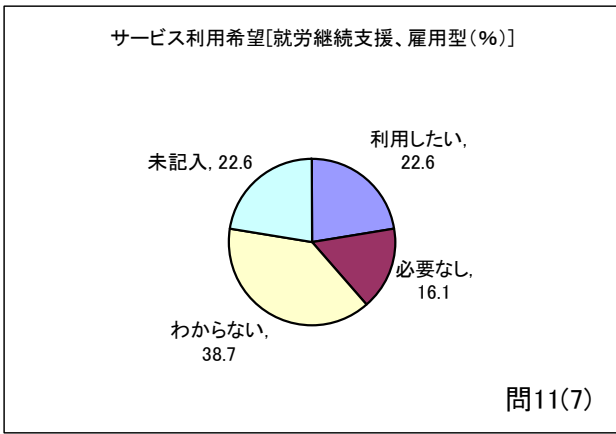
図(通)14



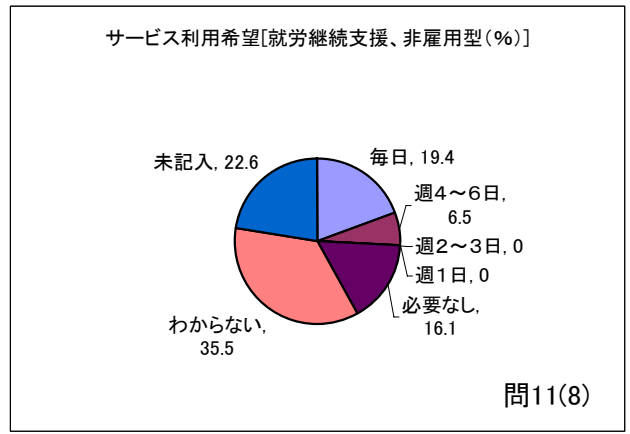
図(通)15



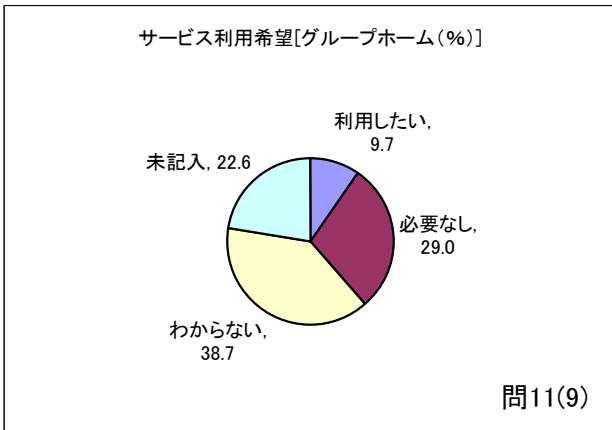
図(通)16



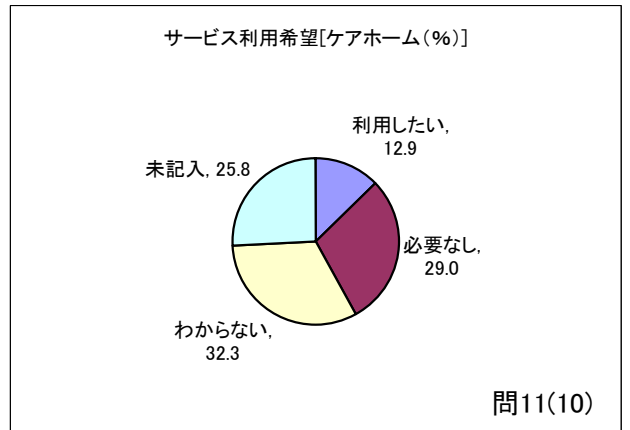
図(通)17



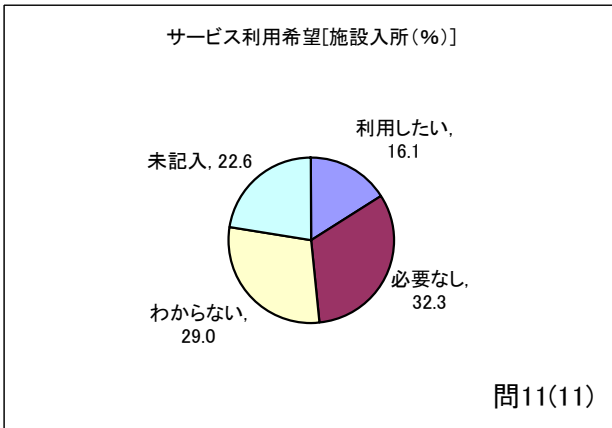
図(通)18



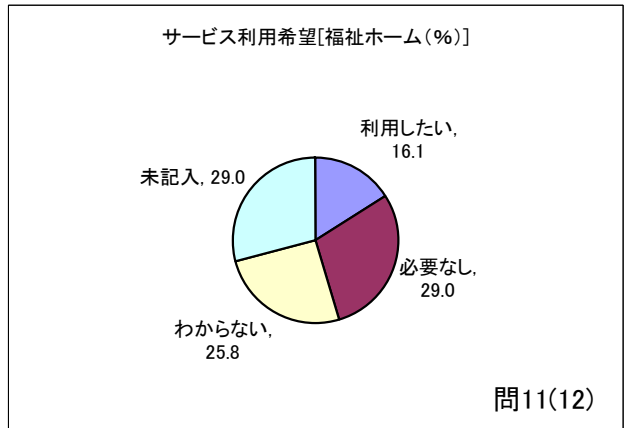
図(通)19



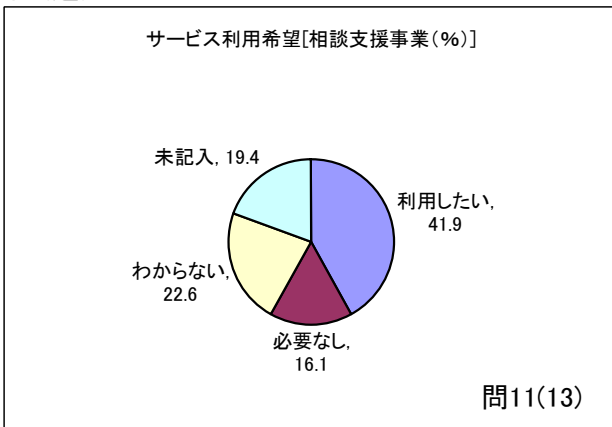
図(通)20



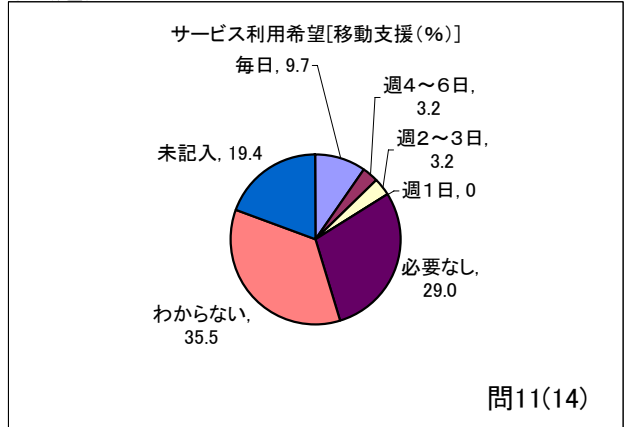
図(通)21



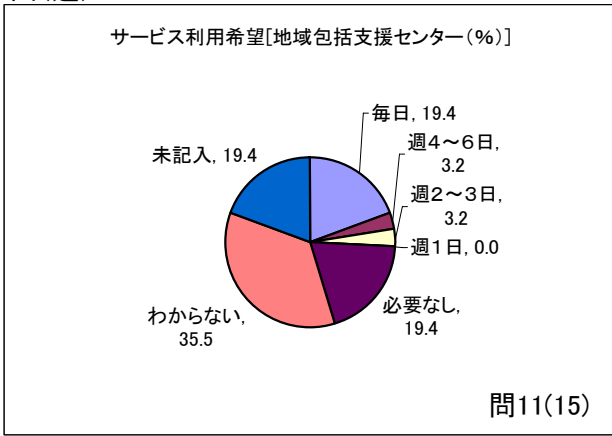
図(通)22



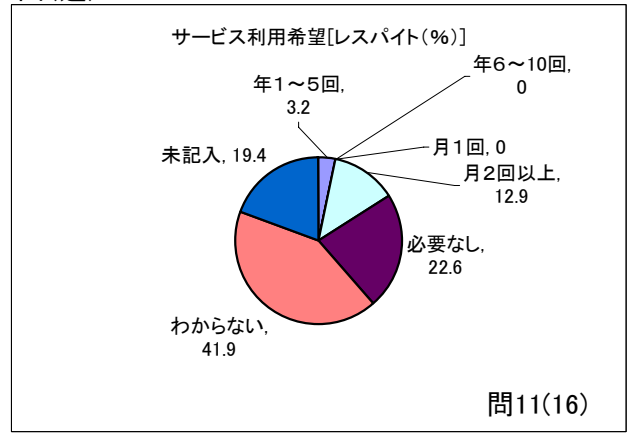
図(通)23



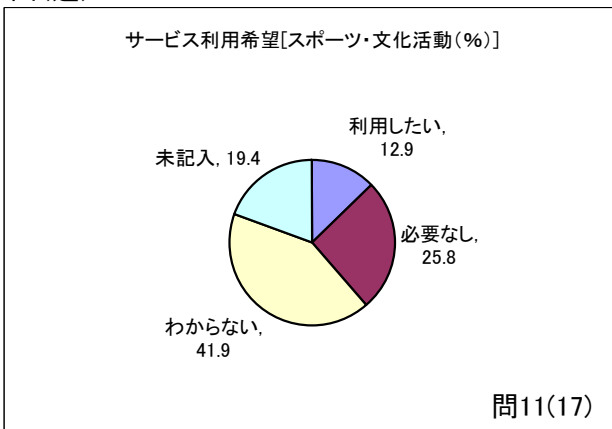
図(通)24



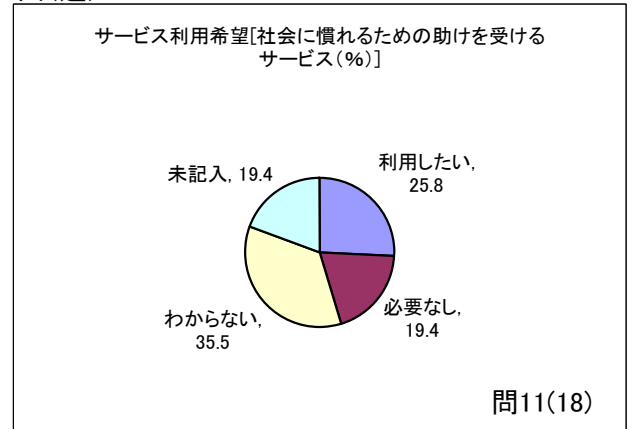
図(通)25



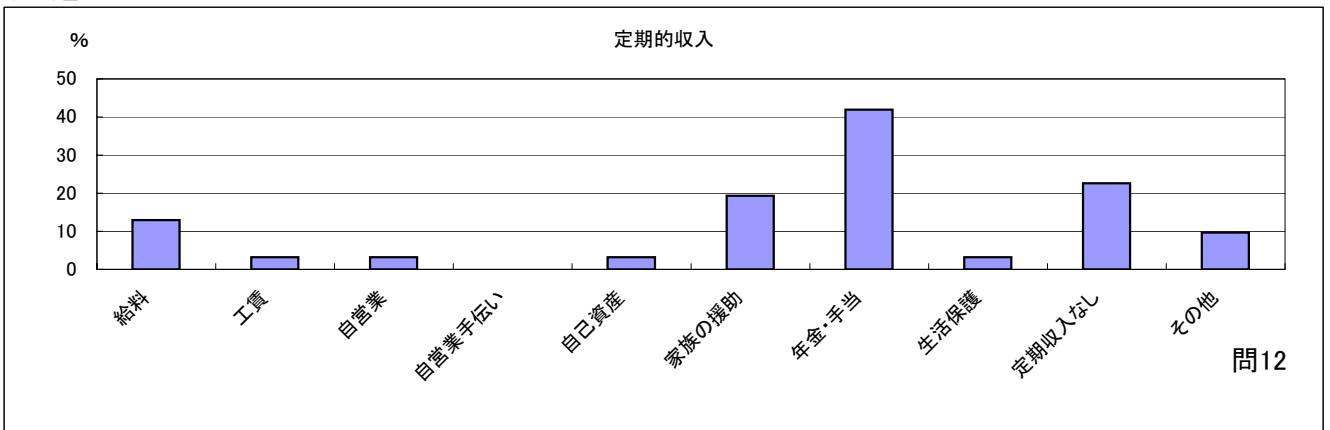
図(通)26



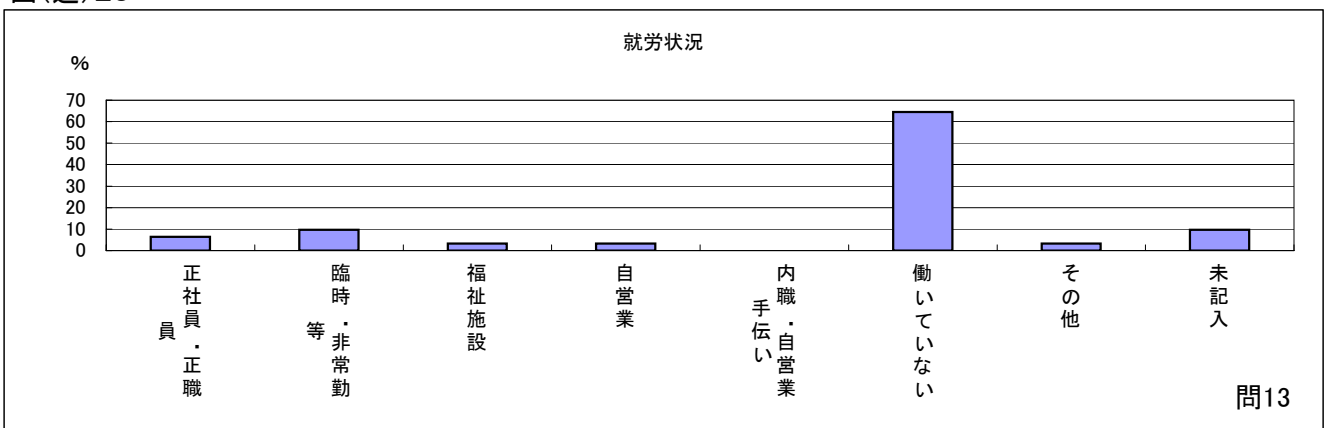
図(通)27



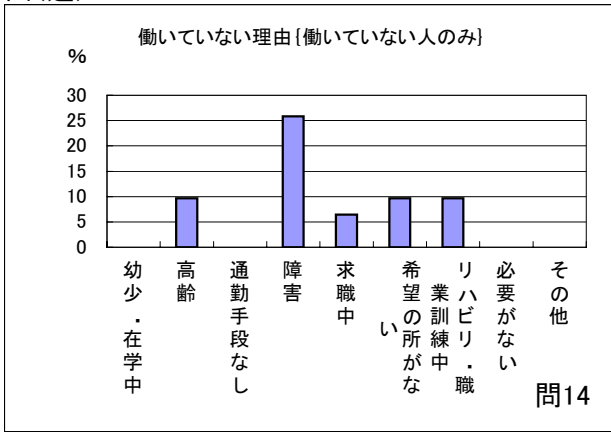
図(通)28



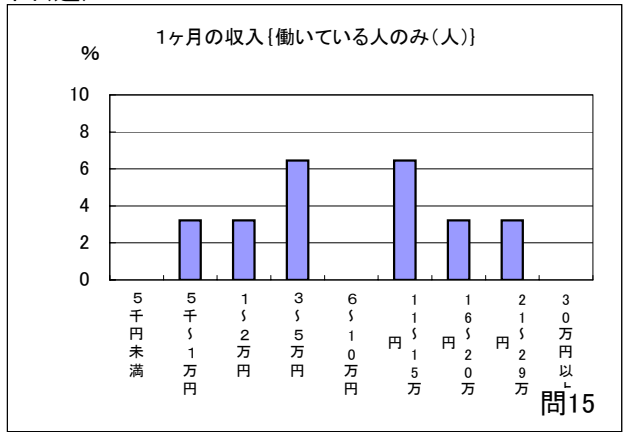
図(通)29



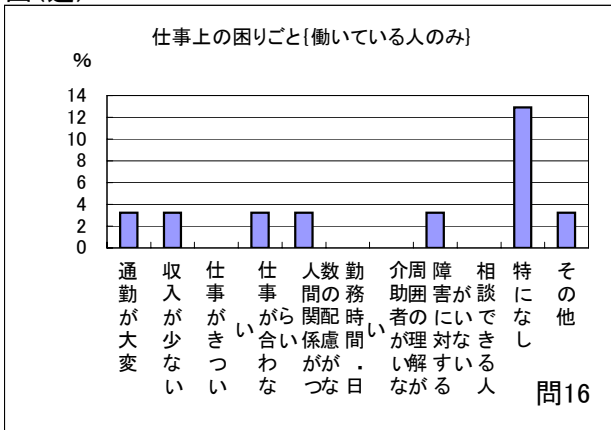
図(通)30



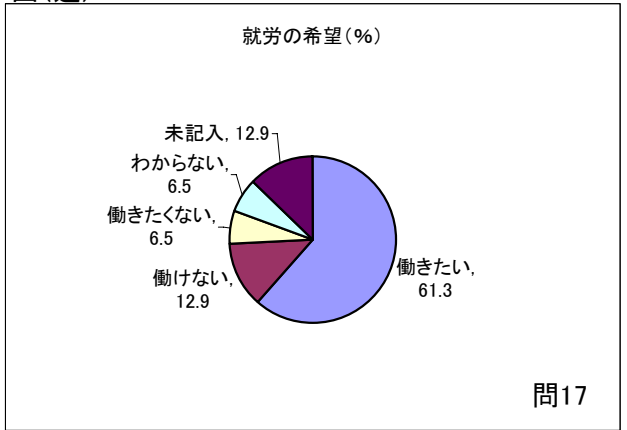
図(通)31



図(通)32



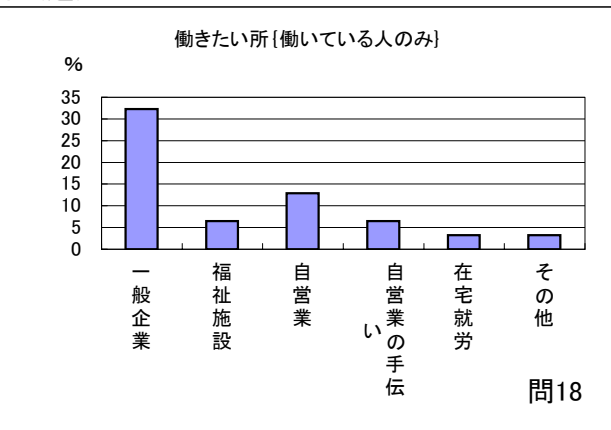
図(通)33



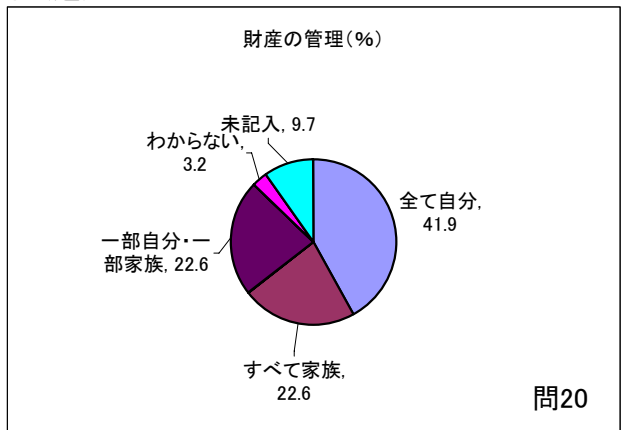
働けない理由

- 1、障害が重い(全体の3.2%)
- 2、働く場が見つからない(全体の9.7%)

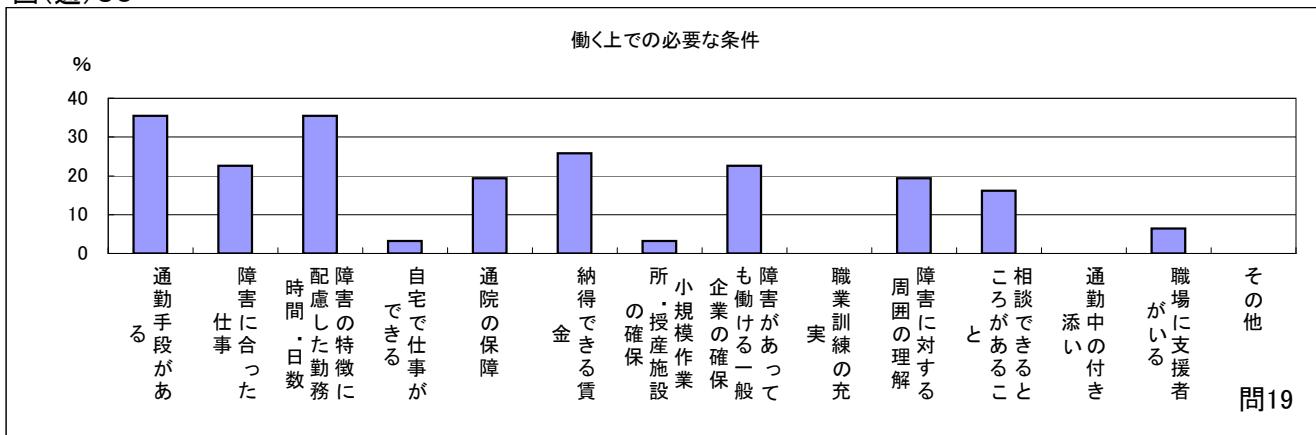
図(通)34



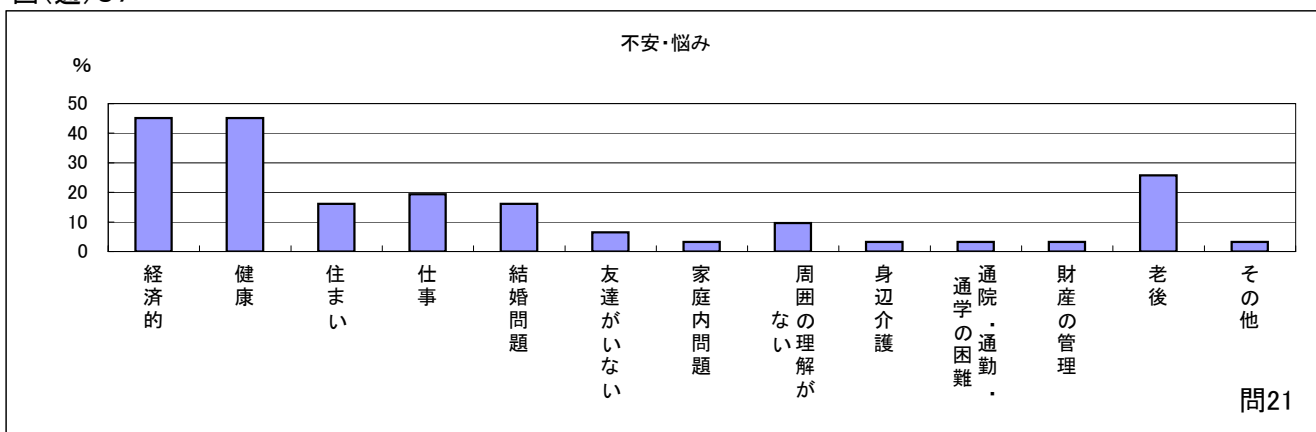
図(通)35



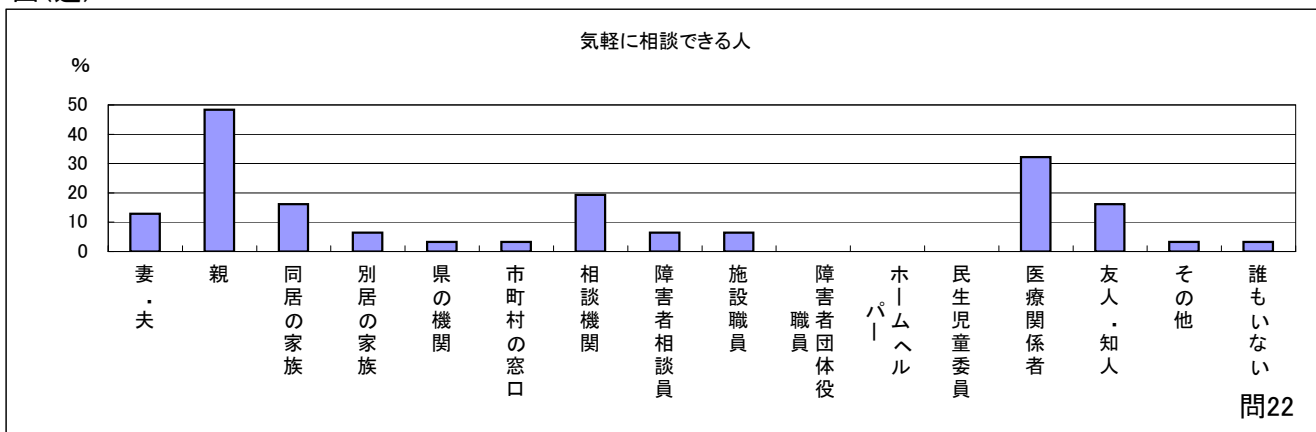
図(通)36



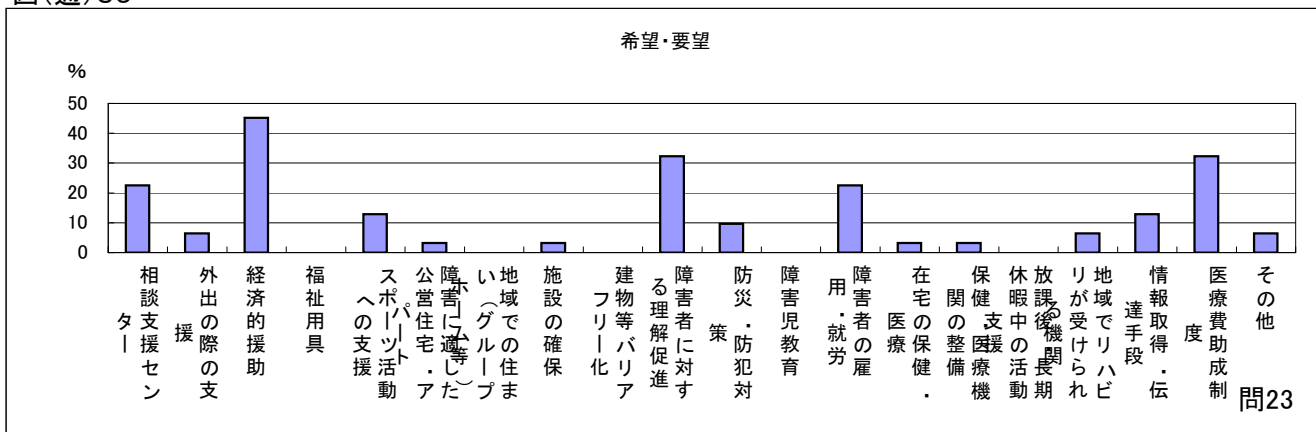
図(通)37



図(通)38



図(通)39



用語解説

— あ 行 —

アジア太平洋障害者の十年

アジア太平洋地域において、障害のある人への認識を高め、域内障害者施策の水準向上を目指すために、「国連障害者の十年」に続くものとして、平成4年に我が国と中国が主唱し、国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）第48回総会において決議された。その最終年となる平成14年のESCAP第58回総会において、我が国の主唱により「アジア太平洋障害者の十年」をさらに10年延長することが決定された。

アスペルガー症候群

アスペルガー症候群とは、知的発達の遅れを伴わず、かつ、自閉症の特徴のうち言葉の発達の遅れを伴わないものである。

AD/HD（注意欠陥／多動性障害）

AD/HDとは、年齢若しくは発達に不釣り合いな注意力及び衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものである。

また、7歳以前に現れ、その状態が継続し、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。

NPO（特定非営利活動法人）

平成10年12月1日から施行された「特定非営利活動促進法（NPO法）」に基づいて法人格を取得した民間非営利団体のこと。

LD（学習障害）

LDとは、基本的には全般的な知的発達の遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態をさすものである。

LDは、その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されるが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害等の障害や、環境的な要因が直接の原因となるものではない。

— か 行 —

機能訓練

医療的なりハビリテーションを終了した者を対象に、日常動作など日々の周辺環境への適応や、本人への動機付け等を主な目的として、保健センター等の公共施設を利用し実施するもの。

グループホーム

自宅での生活が困難となった高齢者や障害者等が、施設職員による援助を受けながら少人数で共同生活する住まい。

ケアマネジメント

障害者やその家族等の希望に応じて、保健・医療・福祉の各サービスを組み合わせ、適切な身体的・精神的・社会的なケアプランを作成し、継続的に援助を行うこと。

高機能自閉症

高機能自閉症とは、3歳くらいまでに現れ、他人との社会的関係の形成の困難さ、言葉の発達の遅れ、興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする行動の障害である自閉症のうち、知的発達の遅れを伴わないものをいう。また、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。

高次脳機能障害

病気や事故による脳の損傷により、注意力や集中力の低下、感情の抑制や簡単な動作がうまくできない。よく知っている道で迷うなどの症状が現れる障害。

— さ 行 —

支援費制度

障害者自らがサービスを選択し、事業者と対等な立場で契約を結びサービスを利用する制度。平成15年4月に従来の措置制度から転換された。

児童デイサービス

障害のある児童が、日常生活における基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練を施設等に通り、受けるサービス。

障害者基本法

障害のある人の自立と社会参加の支援等のための施策に関して基本理念を定め、国や地方公共団体の責務を明らかにするとともに、施策の基本となる事項を定めることにより、障害者施策を総合的、かつ、計画的に進め、障害者福祉を増進することを目的とする法律。平成16年6月に改正され、何人も障害のある人に対して、障害を理由として差別することその他の権利利益を侵害する行為をしてはならないことが加えられた。

障害者週間

国民の間に広く障害者福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるため、障害者基本法では、12月3日から9日までの一週間を「障害者週間」としている。

障害者自立支援法

平成17年第163回特別国会で成立した法律。平成18年4月1日より施行。法では、①3障害（身体・知的・精神）の障害者施策を一元化、②利用者本位のサービス体系に再編、③就労支援の抜本的強化、④支給決定の透明化・明確化、⑤安定的な財源確保の5点をポイントとしている。

障害福祉計画

障害者自立支援法で規定された3年を1期とする計画。市町村の策定する障害福祉計画では、①各年度における障害福祉サービス・相談支援の種類ごとの必要な量の見込み、②障害福祉サービス・相談支援の種類ごとの必要な見込量の確保のための方策、③地域生活支援事業の種類ごとの実施に関する事項等を定める。（同法第88条第1項、第2項）

また、市町村の策定する障害福祉計画は、障害者基本法に基づいて市町村が策定する障害者計画その他の法律の規定による計画であって障害者等の福祉に関する事項を定めるものと調和が保たれたものでなければならない。（同法第88条第4項）

ジョブコーチ

障害者の就労を援助するため、仕事の手順を覚えるための支援を行ったり、その後も定期的に職場訪問をして職業生活についての相談、アドバイス等を行ったりする援助者のこと。

身体障害

身体障害者福祉法に規定された、視覚障害、聴覚または平衡機能の障害、音声機能、言語機能又はそしゃく機能の障害、肢体不自由、心臓・腎臓・呼吸器・膀胱若しくは直腸又は小腸の機能障害をいう。

精神障害

統合失調症、躁うつ病、うつ病、器質性精神障害（てんかん等）、中毒性精神障害等、精神の病気のために社会生活が困難になっている状態をいう。

成年後見制度

民法に規定されている制度で、知的障害者、精神障害者、認知症高齢者など判断能力の不十分な者が、財産管理や身上監護についての契約等の法律行為について自己決定を行う際に一定の支援を必要とする場合には、その人らしく暮らしていくことができるよう保護し支援する制度。

措置制度

行政がサービスの利用者特定し、サービス内容を決定する制度。

一 た 行 一

タイムケア事業

平成17年度より国が試験的に開始している事業。障害のある中高校生等が特別支援学校下校後に活動する場を確保するとともに、障害児を持つ親の就労支援と休息を目的として、デイサービス事業所や特別支援学校の空き教室等で中高生障害児を預かるとともに、社会に適応する日常的な訓練を行う。

地域生活支援事業

障害者自立支援法で規定される市町村が地域の実情に合わせて実施する事業（同法第77条第1項）。

事業内容には、相談支援、コミュニケーション支援（手話通訳等）、日常生活用具の給付、移動支援、地域活動支援等が示されている。

知的障害

先天性または出生時ないし、出生後早期に脳髄に何らかの障害を受けていたため、知能が未発達の状態にとどまり、そのため学習、社会生活への適応が著しく困難な状態をいう。

特別支援教育

従来の心身障害教育の対象だけでなく、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、高機能自閉症を含めて障害のある児童生徒の自立や社会参加に向けて、その一人ひとりの教育的ニーズを把握して、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うこと。

一 な 行 一

難病

原因が不明であったり、治療方法が確立していなかったり、後遺症を残す恐れがある病気をいう。経過が慢性的で、医療費がかかることや、介護等に人手を要するために、家族にとっては経済的・精神的な負担が大きくなる。具体的には「筋萎縮性側索硬化症（ALS）」「潰瘍性大腸炎」「網膜色素変性症」「全身性エリトマトーデス」「ベーチェット病」「悪性関節リウマチ」「パーキンソン病」などが挙げられます。

ノーマライゼーション

これまでの福祉が障害者を一般から引き離して、特別扱いする方向に進みがちであったのに対して、障害や個性の違いに関わらず、あらゆる人が共に住み共に生活できるような社会を築くという新しい福祉の考え方。

－ は 行 －

発達障害

乳児期から幼児期にかけて発達の遅れや機能獲得の困難さが生じる心身の障害で、通常、自閉症、アスペルガー症候群等の広汎性発達障害、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）その他これらに類する脳機能の障害をいう。

発達障害者支援法

発達障害は、人口に占める割合は高いにもかかわらず、法制度がなく、制度の谷間になっており、従来の施策では十分な対応がなされていないことから、平成16年12月に成立した。法は、①発達障害の定義と法的な位置づけの確立、②乳幼児期から成人期までの地域における一貫した支援の促進、③専門家の確保と関係者の緊密な連携の確保、④子育てに対する国民の不安の軽減等を目的としている。

なお、同法での発達障害の定義は、「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これらに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの」とされている（同法第2条）。

バリアフリー

人が生活する上で妨げとなる障害（バリア）が、街、施設、道路、住宅、人びとの意識、社会などから取り除かれた状態。

ピアカウンセリング

ピアとは「社会的・法的に地域の等しい人、同等・対等者、同僚」の意。ピアカウンセリングは、同じ課題や問題、不安を共有している当事者自身がカウンセラーとなり、同じような立場や状況にある人に対し、相談援助活動を行うことをいう。主に、社会生活を営む上で必要とされる心構えや生活能力の習得に関する相談・助言、生活指導等を行う。

ホームヘルパー

障害者等の家庭を訪問し、入浴、排せつ、食事等の介護、衣類の洗濯、住居等の掃除、生活必需品の買物、関係機関との連絡、日常生活・介護に関する相談・助言を行う。

ボランティア

市民の主体的かつ自主的な行動又は活動者をいう。狭義には福祉分野における自主活動をいうが、広義にはあらゆる自主活動を意味する。

－ や 行 －

ユニバーサルデザイン

ユニバーサルは「すべてにわたり一般的な」の意。ユニバーサルデザインは、すべての年齢や能力の人々に対し、可能な限り最大限に使いやすい製品や環境のデザインを指

し、「みんなのためのデザイン」ともいわれている。ユニバーサルデザインのまちづくりとは、高齢者・障害者・妊産婦・子ども・外国人を含むすべての人にとって使いやすい施設や設備を整備することをいう。

－ 行 行 －

ライフステージ

人の一生を、幼少年期、青年期、壮年期、高齢期などに分けた、それぞれの段階。

リハビリテーション

障害を抱える人や病気・けがの人などが、機能回復や社会復帰を目指す訓練をいう。

療育

心身に障害のある児童（障害児）に対し、早期に適切な治療等を行い、障害の治癒や軽減を図りながら育成することをいう。

ご存知ですか? No.1

◆補助犬マーク◆



「身体障害者補助犬法」が施行され、現在では公共の施設や交通機関はもちろん、デパートやスーパー、ホテル、レストランなど一般的な施設に補助犬が同伴できるようになりました。

補助犬はペットではありません。身体の不自由な人の、身体の一部となって働きます。社会のマナーもきちんと訓練されていますし、衛生面でもきちんと管理されています。

このマークや、補助犬を連れていらっしゃる方を見かけた場合は、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

ご存知ですか? No.2

◆耳マーク◆



聞こえが不自由なことを表すマークです。

耳の不自由な方が、自分の耳が不自由であることを自己表示するために考えられました。

耳の不自由な方と話すときは、「はっきりと口元を見せて話す」「筆談をする」などの配慮をお願いします。

ご存知ですか? No.3



◆盲人を表示する国際マーク◆

視覚障害を示す世界共通のシンボルマークです。このマークは、手紙や雑誌の冒頭、あるいは歩行用に自由に使用できます。

ご存知ですか? No.4



◆身体障害者標識（障害者マーク）◆

肢体不自由に関わる条件付き免許を持つ方が、普通自動車を運転するときは、規定の「身体障害者標識」を自動車の前面と後面の所定の見えやすい位置につけて運転するように努めなければなりません。

※自動車の運転者は「身体障害者標識」を表示している自動車に対して、幅寄せをしたり、その車が安全な車間距離を保てなくなるような進路変更をしてはいけません。

ご存知ですか？ No.5

◆障害者のための国際シンボルマーク（ISO-7000）◆



障害者のリハビリテーション事業を実施する世界88か国の各国団体及び国際団体から構成される国際障害者リハビリテーション協会によって、障害者が容易に利用できる建物・施設であることを明確に示す「国際シンボルマーク」が決定されました。

このマークは、国際標準化機構（ISO）の公共案内図記号として、1984年ISO-7000として制定されています。

ご存知ですか？ No.6

◆オストメイトマーク◆



人工肛門・人工膀胱を使用している方（オストメイト）のための設備があることを表しています。

オストメイト対応トイレの入り口・案内誘導プレートに、このマークが表示されています。

ご存知ですか？ No.7

◆臓器提供意思表示カード◆



臓器提供意思表示カードは、書面による臓器提供の意思表示の1つの手段です。平成9年10月に、脳死での臓器移植が可能となる臓器移植法が施行されました。脳死と判定された方が臓器提供を行う場合、ご家族の承諾とともに、本人が生前に書面による意思表示をしていることが重要な要件となります。

ご存知ですか？ No.8

◆「ハート・プラス」マーク◆



「身体内部に障害を持つ人」を表現しています。

内部障害（心臓、呼吸機能、膀胱・直腸、小腸、免疫機能障害）をお持ちの方は、外見から分かりにくいいため、様々な誤解を受けることがあります。

このマークを着用されている方を見かけた場合は、内部障害について理解し、配慮する必要があります。

※このマークは、内部障害の方が自発的に使用するものです。法的拘束力はありません。